

平成29年度

さくら市の教育



さくら市教育委員会

題 字

橋 本 啓 二 (さくら市教育委員会教育長)

表紙絵・酉の年

栃木県文化功労者・日展会員・光風会常務理事

作 杉 山 吉 伸 氏 (さくら市氏家在住)

さくら市の概要

さくら市は、平成17年3月28日に氏家町と喜連川町が合併して誕生した人口約4万4千8百人、面積約125km²の市である。

本市は、栃木県の県都宇都宮市の北東、栃木県の中央部やや北寄りに位置し、栃木県を北西から南東に貫流する鬼怒川の東側に位置する。市の地形は菱形に近く、関東平野の北端部と高原山の南面からのびる丘陵地帯で、鬼怒川・五行川の鬼怒川水系と荒川・内川・江川的那珂川水系が流れ、その流域は、肥沃な水田地帯を成し、水清く緑多い自然環境に恵まれたまちであるといえる。

氏家、喜連川は古代・中世の文書に名前が登場するなど歴史は古く、また近世になると氏家は奥州街道の宿場町として、喜連川は足利氏ゆかりの城下町として栄えた。昭和の町村合併では新たな氏家町、喜連川町が誕生し、幾多の試練を乗り越え確実に歩んできた。

氏家では平成5年度にミュージアム氏家（当時）がオープン、また喜連川では昭和56年の温泉湧出と平成13年の道の駅竣工等により、町の歴史にそれぞれ新たな1ページを開いた。

そして、平成の大合併として平成17年にさくら市が誕生した。これまで両町が取り組んできた文化の息づく・文化の薫るまちづくりをめざして、心豊かな人づくりに取り組んでいる。

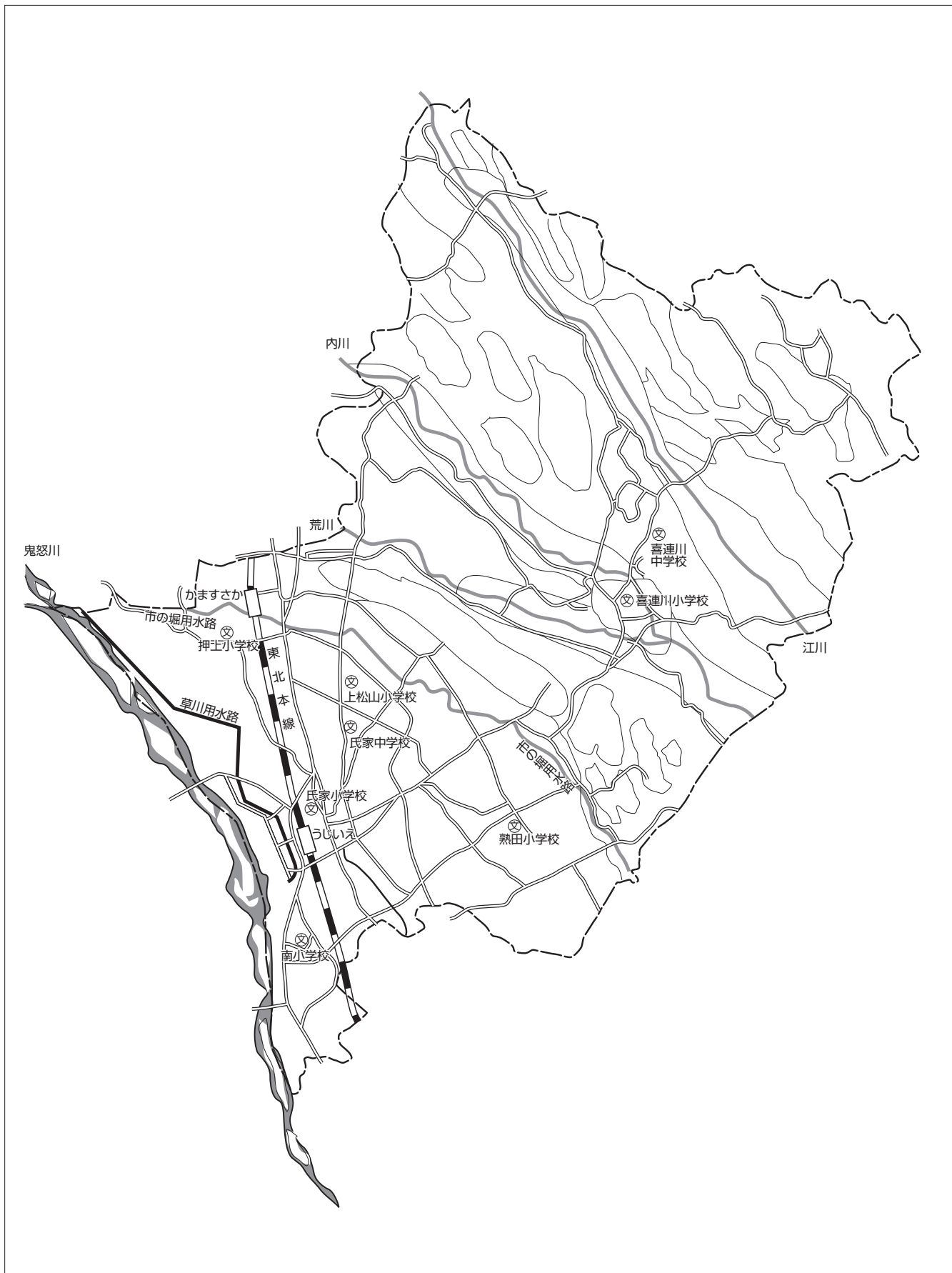


～さくら市章について～

さくら市の「さ」をモチーフに、
花びらのハートは市民がお互いに思いやる心を持ちつつ
未来へ羽ばたくことを表現し、
その心意気を高らかに謳いあげています。
青は豊かな心と英知により、
自然と調和した発展を創造することを表しています。



さくら市全図



目 次

さくら市進化プラン	4
さくら市教育目標	5
I さくら市教育全体構想	
1 さくら市教育目標について	6
2 重点方針について	6
3 生涯の各時期における教育目標と重点施策	7
◇生涯学習推進方針	14
◇人権教育基本方針	15
II 教育委員会の概要	
1 教育委員会委員	16
2 教育委員会機構	16
3 事務分掌	17
4 指標並びに運営方針・努力点	20
III 教育財政	
1 平成29年度教育予算	21
2 平成29年度主要事業	22
IV 学校教育	
1 基本方針	25
2 今年度の重要施策と具体策	25
3 さくら市立学校の概要	27
4 教育諸団体の事業計画	33
5 平成29年度研究学校・研究事業等について	37
6 喜連川給食センター	38
V 生涯学習・社会教育	
1-1 生涯学習・社会教育の基本方針	40
1-2 本年度の重点目標	40
2-1 本年度の主な施策と事業計画	43
2-2 各種学級・講座関係一覧	50
2-3 生涯学習各種委員会	51
3 公民館	52
4 図書館	56
5 さくら市ミュージアムー荒井寛方記念館	62
VI 社会体育	
1 社会体育の目標、基本方針	77
2 本年度の重点目標	77
3 体育施設	77
4 社会体育関係団体および委員会	83
◇平成29年度さくら市スポーツ教室一覧	86
資料編	90

「さくら市の教育」刊行にあたって

さくら市教育委員会教育長 橋本 啓二

天候不順(日照不足)、Jアラート警報の発令など何かと心落ち着かない日が過ぎました。学校を含めて広く社会に危機意識の高揚が見られた数ヶ月でもありました。

学校では、新学習指導要領全面実施に向けて、自校のロードマップを作成し、計画的・段階的にカリキュラム作りの準備に着手した頃と思います。また、平行して小学校においては、英語・外国語活動の時数増加、特別の教科道德の実施など、まさに多忙感を実感する毎日と思います。

さてここに「さくら市の教育」29年度版を刊行しました。この冊子はさくら市の教育施策をはじめ、努力点・具体策、公立学校の学校経営、そして教育行政資料・統計などをまとめたものです。この一冊に、さくら市の教育の概要が示されています。今回このメッセージを掲載したのは、さくら市で進める「教育の進化プラン」について若干の説明を加えるためです。現在このプランに示された4つの施策について、具体的な取り組みに着手した段階です。7月には市内に推進委員会、推進委員会作業部会が設置され、施策の具体策を立案、提示していきます。企画立案の段階では、学校現場の教職員にも出席を求め、実態に即した活動を取り入れていく考えです。(その際には、ご協力願います)

現在まで進めてきた「当たり前のことを当たり前にする」教育の徹底と、教育の進化プランを取り入れたさくら市独自の教育が展開できるよう取り組んでいきます。なお今年度のさくら市教育全体構想には、4つの施策の中で実施可能・試行的な具体策が盛り込まれています。次年度は、さらにこの「教育の進化プラン」の見える化を意識した全体構想の見直しを考えていきます。着任2ヶ月余ですが、今後ともさくら市教育の進化とともに自らの資質・向上にも努めていきたいと思っております。



気力・体力・学力No.1

教育の **進化**

子どもたちのために…

『さくら』は日本の良さ 日本の良さは教育の良さにあります

1. 学力 県内トップクラスの達成

全国学力学習状況調査結果を県内トップクラスに

2. 課外『さくら市スクール』の開設

(ア) 基礎学力を養う市民塾

(イ) 5歳児からの英語学習などの取り組み

(ウ) 里山を活かした体験学習の充実

3. ICT教育の推進(タブレット、ICT教材)

4. スポーツ教育施設の充実(プール・武道館等)

その他、いのちの授業の充実(動物愛護施策の創設)や健全な遊び場としてプレイパークを開設などあらゆる取り組みに着手します





○大好きなさくら市をもっと育もう

— さくら咲き 夢さき

人さき 文化さく —



第2次さくら市生涯学習推進計画

～生涯学習“学びのライフステージ”～

乳幼児期

少年期

青年期

成人期

高齢期

人権教育の推進

家庭教育支援の目標

自立できる子どもの育成を目指す
家庭教育支援の充実

- 【生涯学習課】
家庭教育支援チームとの連携
- 乳幼児教育の充実
 - ・ほのほの広場
 - 家庭教育の向上
 - ・家庭教育通信「つくしんぼ」の発行(年2回)
 - ・家族フェスタ【重1】
 - ・育ちにくい子をもつ親への支援講座「ひだまりふあんの会」【重2】
 - ・思春期の子をもつ親への支援【重2】

- 【公民館】
- 乳幼児教育の充実
 - ・エンゼル講座
 - ・自主学級の支援
 - 家庭教育の向上
 - ・家庭教育学級の支援

- 【図書館】
- 乳幼児教育の充実
 - ・あかちゃんタイム(氏家図書館・喜連川図書館)
 - ・ブックスタート事業(10ヶ月健診時)
 - ・おはなし会(氏家図書館・喜連川図書館)
 - ・わらべうたの会
 - ・プチおはなし会(氏家図書館)
 - ・絵本の巡回貸出(保育園・児童センター)
 - ・紙芝居(氏家図書館・喜連川図書館)

幼・保・小
連絡協議会

親子
応援講座
(就学時
健診時)

家庭教育
支援チームに
よる
出前講座

子どもの
生活向上
プロジェクト

読み聞かせ・
学校図書ボランティア
(読書活動推進)【重2】

放課後子ども教室【重2】
(喜小っ子、押小っ子)
(ふれあいスクール)

- 青少年健全育成・体験活動の充実
- 【生涯学習課】
 - ・青少年センターあいさつ活動・体験活動事業
 - ・青少年ボランティア活動の拡充【重1】
 - ・瀧澤家住宅での講座と発表会の開催
 - ・瀧澤家住宅への校外学習の受け入れ

学校教育活動全体を通じた

I 生きて働く知識・技能の習得

1 確かな学力の育成
(学力県内トップクラスを目指します。)

- ①深い学びに向けた授業推進
【市授業力向上研修・学校課題、研究授業支援】
- ②各種調査の実施と結果活用
※市独自の学力調査の実施
※とちぎっ子学力向上応援団派遣事業(上松山小、南小、氏家中)
- ③理数教育の充実
【楽しい理科実験教室】

2 健やかな体の育成

- ①食育の推進
【お弁当の日・親子料理教室】
※健やかな体づくりのための食育推進研究(市献立研究会(栄養教諭、栄養職員))
- ②心身の健康(BOKSプログラムの深化)

I 教員の資質向上

- ①教師の使命感・専門性の向上
【研修の充実】【研究授業の相互参観】
- ②教師の総合的な人間力の向上
【接遇の向上】
【保護者や地域の方との連携・協力】【重2】
- ③特別支援教育への理解促進
【教員対象の講演会】

学校教育の目標

一人一人に生きる力の育成を目指す学校教育の充実

II 学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性の育成

- 3 豊かな心の育成
 - ①相手を思いやる心の教育の推進
【道徳の教科化に向けた研究】
【ネットいじめ・ネットトラブル防止講演会】
 - ②読書活動の推進
【朝の読書活動推進、読書活動推進員(図書事務員)によるさくら市の100冊の改訂作業】
- 4 特別支援教育の充実
 - ①早期教育相談の実施
 - ②配慮児童生徒へのきめ細やかな支援
【個別の支援教室の充実】
- 5 問題行動(いじめ・不登校等)の未然防止・対応
 - ①望ましい学級・集団づくりの推進【重1】
【Q-U調査の活用】
 - ②悩みを抱える子ども、保護者等の支援
【市適応支援教室の相談員による支援】

II 学校の指導體制の整備

- ①非常勤講師等配置
- ②不登校への対応強化
【関係機関との連携】
【適応支援連絡会議の実施】
【スクールカウンセラーの効果的な活用】
【スクールソーシャルワーカーの効果的な活用】



青少年教育の目標

さまざまな体験・交流をとらして、
自分のよさを見つけられる青少年教育の充実

- 【公民館】
 - ・就業体験の受け入れ(マイ・チャレンジ、インターンシップ等)
 - ・若者向けの芸術・スポーツ講座

道徳教育の充実

III 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成

- 6 校種間の円滑な接続
 - ①小中一貫(連携)教育の研究
※小中連携推進のための実践研究
(第3ステージ)(喜連川中・喜連川小)
※氏家地区の小中連携を考える会
 - ②幼・保・小の連携推進【幼保小連絡協議会】
- 7 地域学習・国際理解教育の推進
 - ①地域学習、体験活動の推進【重2】
【ボランティアの推進】
 - ②国際理解教育の推進
【中学生の国際交流事業】
【直接雇用ALTによる中学生の学習支援】

III 教育環境の整備

- ①信頼される学校づくりの推進【重2】
【ホームページの活用】【授業公開の推進】
- ②地域が学校を支える体制整備【重2】
【学校支援地域本部事業の推進】
- ③ICT教育の推進
【タブレット端末の研究・デジタル教科書整備】
- ④施設整備の充実【校務支援システムの運用】
【長寿命化計画等に基づいた老朽化対策】
- ⑤防災教育の推進
【緊急地震速報受信機を活用した避難訓練】
- ⑥奨学金の充実【給付型奨学金の創設】

音楽鑑賞教室・
ふるさと文化芸術
体験教室

生活困窮世帯への
学習の場の提供

各種
ボランティア事業

- 【スポーツ振興課】
 - ・子どもスポーツ教室、大会の開催
 - ・親子参加型スポーツ教室、大会の開催
 - 【さくら市ミュージアム-荒井寛方記念館-】
 - ・こども絵画展
 - ・体験学習の開催
- 【図書館】
 - ・図書館まつり(喜連川図書館)・工作会(両館)
 - ・団体貸出(小学校・学童室)

社会教育の目標

人と人をつなぐ家庭・地域づくりを
目指す社会教育の充実

- 【生涯学習課】
 - 地域の教育力の向上
 - ・市民大学(さくら学)による地域リーダーの育成
 - ・青少年指導者の育成(少年指導員、ふれあいスクールサポーター等)
 - ・地域と学校を結ぶコーディネーター・学校支援ボランティアの育成【重2】
 - 生涯学習の推進
 - ・ゆめ!さくら博、生涯学習振興大会の開催
 - ・市内学習施設(サテライト)の有効活用
 - ・ボランティア市民交流の場の提供
 - 芸術文化活動
 - ・文化振興事業の実施
 - ・文化振興事業への市民参画
 - 文化財の保護と活用
 - ・さくら市文化財周知の推進
 - ・無形民俗文化財保存団体の育成
 - 【スポーツ振興課】
 - 生涯スポーツの推進
 - ・スポーツ教室の充実
 - ・スポーツ大会の開催、誘致
 - ・ニュースポーツ、軽スポーツの振興
 - ・高齢者、障がい者スポーツ機会の充実
 - ・指導者、ボランティアの育成支援
 - スポーツ施設の充実(整備・管理・運営)
 - ・不足する機能確保のための施設整備
 - ・既存施設の機能充実
- 【公民館】
 - 公民館講座の充実
 - ・菜の花学級(高齢者)、公民館サポートボランティア養成等
 - 自治公民館を活用しての交流推進
 - ・自治公民館でまえ講座・異世代交流・家庭支援事業の推進
- 【図書館】
 - 市民ニーズに基づく図書館サービスの向上
 - ・レファレンスサービスの充実
 - ・情報発信の充実
 - 図書館資料の整備充実
 - 多様な学習機会の提供
 - ・各種講座の開催
 - 利用者との協働
 - 【さくら市ミュージアム-荒井寛方記念館-】
 - 展示事業の充実
 - ・各種企画展の開催
 - 市民ギャラリーの活用
 - 郷土の歴史・文化的資料の収集、保管、研究、活用
 - 歴史・文化・芸術情報の発信

(仮称)課外
さくら市
スクール
開設

中学生
マイ・チャレンジ
事業【重1】

喜連川小・
氏家小
学校支援
地域本部
【重2】

学校評議員・
学校関係者
評価
(外部評価)

学校開放
講座

○「おはよう」からはじめる
人づくり
子どもも 大人も“朝のあいさつ”



○早寝・早起き・朝ごはん
(心身共に健康な子どもの育成を図る国民運動)

○いきいき栃木っ子3あい運動
-学びあい 喜びあい はげましあおう-



I さくら市教育全体構想

1 さくら市教育目標について

さくら市教育目標

心身共に健康で、生涯にわたり自己実現し、社会に貢献できる人づくり

さくら市教育委員会では、市民一人一人が夢と生きがいをもち、創造性と活力に満ちた心豊かな人生を送れることを望んでいる。そのためには、まず心と体が健康であり、自分の興味関心のもと生涯にわたって自ら学んだり、自己を高めたりすることが重要である。このような、それぞれの時期において、自分のよさを知り、認められ、伸ばすことができ、達成感を感じられる自己実現する力を学校教育や社会教育で培っていく必要がある。

さらに、学んだことを地域社会に生かすこと、すなわち社会に貢献することにより、市民がやりがいや生きがいを感じ、地域社会も活性化されることが期待できる。

言い換えれば、市民一人一人が生涯の各時期に必要な学習活動を行いながら、コミュニケーション能力を高め、学び合い、実践し合い、振り返り合いながら自らの人格の完成を目指すとともに、家庭や地域社会の形成者としての役割を果たしていくということであり、これらのことが日常化されることにより、豊かな人間性が培われ共に生きる生きがいのある住みよい地域社会がつくられていくのである。

これらをふまえ、市教育目標を「心身共に健康で、生涯にわたり自己実現し、社会に貢献できる人づくり」と設定する。

「自己実現」とは

- ・自分の中にひそむ可能性を自分で見つけ、十分に発揮すること（広辞苑）
- ・自分の目的、理想の実現に向けて努力し、成し遂げること（大辞泉）

2 重点方針について

重点方針

- よりよい人間関係をはぐくむ学習・交流・体験活動の推進 ～学級集団・教師集団・地域～
- 地域と共に歩む学校づくりの推進 ～学校教育・家庭教育・地域教育の充実～

市教育目標をふまえ、後述のように、生涯の各時期における教育目標を設定し、その実現に向けて各種施策を計画し実践する。

その際に、特に力を入れていきたい2点を「重点方針」と設定した。

1点目は、よりよい人間関係をはぐくむ活動を推進することである。

これは、学校でも家庭でも地域でも、互いに助け合ったり、話し合ったり、学び合いながら、

居がい感が持て、そこにやりがいや生きがいを見いだせるような人間関係を目指すものである。

例えば、不登校やいじめ等の減少のためには、学校における学級集団の中での居がい感を持つ人間関係の構築が不可欠であり、それは、家庭や地域においても同様なことが必要である。

2点目は、地域と共に歩む学校づくりを推進することである。

現在、家庭や地域の教育力の低下が叫ばれている中、子どもたちの人格形成においても、人との交流や様々な体験の必要性が問われている。また、地域の連帯感の希薄さから学校への関心の低下が問題とされている。

このようなことから、学校教育において地域のさまざまな力を導入することにより、きめ細やかな指導や専門的な指導等、教育の質の向上が図られると共に、教職員の多忙感や負担感の軽減が期待できる。また、地域人材が学んだ成果を学校で提供することは地域社会の活性化を図るだけでなく、地域の教育力を高めることにもつながると期待できる。

3 生涯の各時期における教育目標と重点施策

さくら市教育委員会では市教育目標を達成すべく、栃木県の推進する「いきいき栃木っ子3あい運動」、また、国が推進する「早寝・早起き・朝ごはん運動」を基盤に、生涯の各時期において下記のような目標と重点施策を講じながら進めていく。

(重点施策の内容の詳細は、各担当課の頁を参照)

(1) 乳幼児時期：**家庭教育の支援**〔◇生涯学習課〕

◇家庭教育支援の目標◇

「自立できる子どもの育成を目指す家庭教育支援の充実」

【生涯学習課】

○乳幼児教育の充実

- ・ほのぼの広場

○家庭教育の向上

- ・育ちにくい子を持つ親への支援（ひだまりふぁんの会）
- ・家庭教育支援チームとの連携
- ・思春期の子をもつ親への支援
- ・家庭教育通信「つくしんぼ」の発行
- ・家庭教育出前講座
- ・親子応援講座

【公民館】

○乳幼児教育の充実

- ・エンゼル講座
- ・自主学級の支援

○家庭教育の向上

- ・家庭教育学級の支援

【図書館】

○家庭教育支援の充実

- ・ブックスタート事業（10ヶ月健診時）
- ・おはなし会（氏家図書館：毎週土曜、喜連川図書館：第1・3・5土曜に開催）
- ・わらべうたの会（氏家図書館：第3木曜開催）
- ・絵本の巡回貸出（保育園）
- ・あかちゃんタイム（氏家図書館・喜連川図書館：第1・3木曜開催）

(2) 少年期～青年期：**青少年教育**〔◇生涯学習課〕・**学校教育**〔◆学校教育課〕

◇青少年教育の目標◇

「さまざまな体験・交流をとおして、自分のよさを見つけられる青少年教育の充実」

○青少年健全育成・体験活動の充実

【生涯学習課】

- ・青少年センターあいさつ巡回活動
- ・青少年体験事業（青少年センター体験事業：農業体験、職業体験、異世代交流等）
- ・青少年ボランティア活動の拡充 ・瀧澤家住宅での講座と発表会の開催
- ・瀧澤家住宅への校外学習の受け入れ

【公民館】

- ・就業体験の受け入れ（マイチャレンジ、インターンシップ等）
- ・若者向けの芸術・スポーツ講座

【図書館】

- ・図書館まつり（喜連川図書館） ・企業連携事業（氏家図書館）
- ・団体貸出（小学校・学童室） ・工作会（両館）

【さくら市ミュージアム・荒井寛方記念館・】

- ・こども絵画展 ・体験学習の開催

【スポーツ振興課】

- ・子どもスポーツ教室、大会の開催
- ・親子参加型スポーツ教室、大会の開催

◆学校教育の目標◆

「一人一人に生きる力の育成を目指す学校教育の充実」

I 生きて働く知識・技能の習得

1 確かな学力の育成

①深い学びの授業の推進

【市授業力向上研修・学校課題、研究授業支援】

②各種調査の実施と結果活用

※市独自の学力調査の実施

※とちぎっ子学力向上応援団派遣事業（上松山小、南小、氏家中）

③理数教育の充実

【楽しい理科実験教室】

2 健やかな体の育成

①食育の推進

【お弁当の日・親子料理教室】

※健やかな体づくりのための食育推進研究〈3年次〉

（市献立研究会（栄養教諭・栄養職員））

②心身の健康

【BOKSプログラムの深化】

II 学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう人間性の涵養

3 豊かな心の育成

①相手を思いやる心の教育の推進

【道徳の教科化に向けた研究】

【ネットいじめ・ネットトラブル防止講演会】

②読書活動の推進

【朝の読書活動推進、読書活動推進員（図書事務員）によるさくら市の100冊の改訂作業】

4 特別支援教育の充実

①早期教育相談の実施

②配慮児童生徒へのきめ細やかな支援

【個別の支援教室の充実】

5 問題行動（いじめ・不登校等）の未然防止・対応

①望ましい学級・集団づくりの推進 [重1]

【Q-U調査の活用】

②悩みを抱える子ども、保護者等の支援

【さくら市適応支援教室の相談員による支援】

Ⅲ 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成

6 校種間の円滑な接続

①小中一貫（連携）教育の研究

※小中連携推進のための実践教育〈第3ステージ〉（喜連川小・喜連川中）

氏家地区の小中連携を考える会

②幼・保・小の連携推進

【幼保小連絡協議会】

7 地域学習・国際理解教育の推進

①地域学習、体験活動の推進 [重2]

【ボランティアの推進】

②国際理解教育の推進

【中学生の国際交流事業】

【直接雇用ALTによる中学生の学習支援】

I 教員の資質向上

①教師の使命感・専門性の向上

【研修の充実】

【研究授業の相互参観】

②教師の総合的な人間力の向上

【接遇の向上】

【保護者や地域の方との連携・協力】 [重2]

③特別支援教育への理解促進

【教員対象の講演会】

II 学校の指導体制の整備

①非常勤講師等の配置

②不登校への対応強化

【関係機関との連携】

【適応支援連絡会議の実施】

【スクールカウンセラーの効果的な活用】

【スクールソーシャルワーカーの効果的な活用】

III 教育環境の整備

①信頼される学校づくりの推進 [重2]

【ホームページの活用】

【授業公開の推進】

②地域が学校を支える体制整備 [重2]

【学校支援地域本部事業の推進】

③ICT教育の推進

【タブレット端末・デジタル教科書整備】

④施設整備の充実

【長寿命化計画の策定】

⑤防災教育の推進

【緊急地震速報受信機を活用した避難訓練】

⑥奨学金の充実

【給付型奨学金の創設】

(3) 成人期～高齢期：**社会教育** [◇生涯学習課]

◇社会教育の目標◇

「人と人をつなぐ家庭・地域づくりを目指す社会教育の充実」

【生涯学習課】

○地域の教育力の向上

- ・市民大学による地域リーダーの育成
- ・青少年指導者の育成・地域と学校を結ぶコーディネーターと学校支援ボランティアの育成

○生涯学習の推進

- ・市民協働によるまちづくりの推進
- ・ゆめ！さくら博、生涯学習振興大会の開催
- ・市内学習施設（サテライト）の有効活用
- ・ボランティア市民交流の場の整備

○芸術文化活動

- ・文化振興事業の実施
- ・文化活動家・団体の育成

○文化財の保護と活用

- ・さくら市の文化財周知の推進
- ・無形民俗文化財保存団体の育成

【公民館】

○公民館講座の充実

- ・菜の花学級（高齢者学級）、エンゼル講座、公民館ボランティアの養成

【スポーツ振興課】

○生涯スポーツの推進

- ・スポーツ教室の充実、スポーツ大会の開催、誘致
- ・ニュースポーツ、軽スポーツの振興

- ・高齢者、障がい者スポーツ機会の充実 ・指導者、ボランティアの育成支援
- スポーツ施設の充実（整備・管理・運営）
 - ・不足する機能確保のための施設整備
 - ・既存施設の機能充実

【図書館】

- 市民のニーズに基づく図書館サービスの向上
 - ・レファレンスサービスの充実 ・情報発信の充実
- 図書館資料の整備充実
- 多様な学習機会の提供
 - ・各種講座の開催
- 図書館利用者との協働

【さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－】

- 展示事業の充実
 - ・各種企画展の開催
- 郷土の歴史・文化的資料の収集、保管、研究
- 歴史・文化・芸術情報の発信
- 市民ギャラリーの活用

また、生涯の各時期の教育と学校教育がつながり合う活動も展開していく。

(1) 乳幼児期の教育（家庭教育）と学校教育

- ・幼・保・小連絡協議会

【乳幼児学級と学校教育を円滑につなぐ研究を推進する】

- ・親育ち・子育て支援協議会

【情報や学習機会の提供、相談体制の整備等、きめ細やかな家庭教育支援を行う】

(2) 青少年教育と学校教育

- ・読み聞かせ・学校図書ボランティア（読書活動推進）

【図書関係ボランティアの育成と学校への導入により、子どもの読書活動を推進する】

- ・放課後子ども教室（喜小っ子、押小っ子ふれあいスクール）

【地域社会の中で放課後等に子どもたちが安全で安心して、健やかにはぐくまれるようにする】

- ・音楽鑑賞教室

【音楽家を招いた公演会を開催し、子どもたちの情操をはぐくむ】

- ・青少年センターや家庭教育支援チームによる出前講座

【子どもたちの生活リズムの向上等を推進するための出前講座を実施する】

(3) 社会教育と学校教育

- ・中学生マイチャレンジ事業

【中学生が社会に出て職業を体験。自分の将来を見つめると共に地域とのつながりを深める】

・喜連川小学校支援地域本部事業・氏家小学校支援地域本部事業

【地域の教育力による学校支援で、教員が子どもと向き合う時間の確保、地域の教育力の向上等を図る】

・外部評価の積極的導入（学校評議員）

【外部の方に学校教育を評価してもらい、よりよい教育活動を推進できるようにする】

・安心・安全ボランティアのネットワーク

【さまざまな安心安全関係のボランティアや組織等のネットワークを構築する】

・学校開放講座

【学校を主な会場に、教職員が趣味や特技を生かして、文化、芸術、体育等の教室を開催し、地域にその力を還元する】

生涯学習推進方針

さくら市教育委員会

少子高齢化の進行をはじめとする急激な社会変化の中、市民一人ひとりが生きがいのある充実した生活を送り、豊かで活力ある地域社会づくりが望まれている。そのためには、基本的な人権尊重の精神に立ち、身心共に健康で生涯にわたり自己実現し、社会に貢献できる人づくりのため、市民と行政が協働し、知恵を出し合い力を合わせて「生涯学習によるまちづくり」を積極的に推進していくことが必要である。

1 学校教育における生涯学習

学校教育においては、次代を担う子どもたちの「生きる力」を育み、生涯にわたる学習の基盤を培う場として、また地域住民の社会参加・貢献の場として、地域の生きた教育資源を活用した教育活動を推進することにより、「地域の学校」として、生涯学習の積極的な推進に努める。

- (1) 家庭・地域との連携や体験学習活動等を推進することで、生きる力の育成と、開かれた学校づくりとともに、地域に貢献する学校の推進に努める。
- (2) 地域の教育資源を取り込み、教材化を図るとともに、社会教育施設などの積極的活用を努める。

2 社会教育における生涯学習

社会教育においては、市民が生きがいを持って主体的に活動し、行政と協働のまちづくりが展開されることを目指している。目標を「人と人をつなぐ家庭・地域づくりを目指す社会教育の充実」と設定し、生涯にわたって学び、身心共に健康で自己実現し、社会に貢献できる人づくりを推進することにより、市民による積極的な生涯学習社会形成ができるように努める。

- (1) 生涯にわたって学ぶことができる学習機会の一層の充実に努める。
- (2) 学習成果を活かす活動を支援し、地域づくりに主体的に取り組む人づくりの推進に努める。

人権教育基本方針

さくら市教育委員会

すべての国民は、日本国憲法によって法の下に平等であり、その基本的人権は何人によっても侵すことのできない永久の権利として保障されている。しかしながら、我が国の現状を見ると、同和問題・障がい者問題等の様々な人権問題が存在していることも事実である。これらの問題の早急な解決は、国及び地方公共団体の責務である。

さくら市教育委員会は、栃木県人権教育基本方針を踏まえ、人権教育を人権尊重の精神の形成を目的とする教育活動ととらえ、人権教育が様々な人権に関する問題解決において極めて大きな役割をもつとの認識のもと、次の基本方針により人権教育を推進する。

1 学校教育における人権教育

学校教育においては、人権尊重の精神の形成を図ることを目指し、児童・生徒の発達段階に即しながら、教育活動全体を通じて、人権教育の積極的な推進に努める。

- (1) 学校教育の全領域において、人権教育が組織的、計画的に継続して推進されるように努める。
- (2) 各学校における人権教育の課題を明確にし、教職員の共通理解を図るとともに指導内容・方法などの充実・改善に努める。
- (3) 家庭や地域社会との緊密な連携を図るとともに、保護者に対する啓発活動に努める。

2 社会教育における人権教育

社会教育においては、人権問題を自らの課題としてとらえるとともに、人権感覚を磨き、日常生活において人権への配慮が態度や行動につながるような人権意識を高め、人権尊重社会の形成者として必要な資質や能力を養うことを目指す。そのために、生涯学習振興のための各種施策を計画し、生涯にわたって人権に関する多様な学習機会を提供しながら、人権教育の積極的な推進に努める。

Ⅱ 教育委員会の概要

所在地 〒329-1492
栃木県さくら市喜連川4420番地1

電話 028-686-6620

FAX 028-686-5336

電子メール gakukyo@city.tochigi-sakura.lg.jp

交通 JR宇都宮線 氏家駅下車 喜連川温泉行バス（郵便局前下車）
又は馬頭行バス（本町下車）乗車時間はいずれも約20分

1 教育委員会委員（平成29年7月1日現在）



教育長
橋本 啓二



教育委員
森島 仁



教育委員
鈴木いづみ

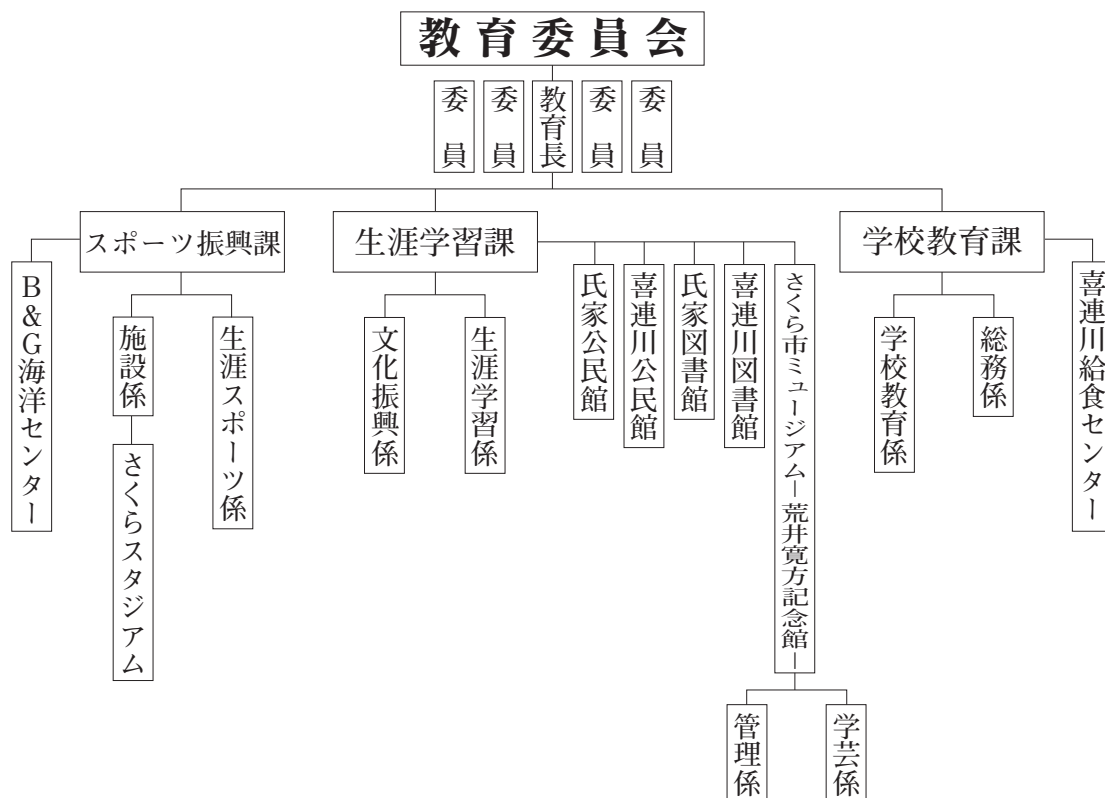


教育委員
村上 一典



教育委員
佐藤貞一郎

2 教育委員会機構



3 事務分掌

業務分類の単位		業務の概要
学校教育課	総務係	教育委員会の会議に関すること
		学校その他教育財産の管理に関すること
		事務局職員（県費職員を除く。以下同じ。）の定数、任免、給与、旅費その他人事及び研修に関すること
		公印の保管に関すること
		条例、規則及び規程の制定並びに改廃に関すること
		秘書用務に関すること
		学校施設及び設備の整備に関すること
		公文書類、備品等の保管及び管理に関すること
		学校教育に係る歳入歳出予算に関すること
		学校教育に関する調査及び統計に関すること
		教育備品、教材教具等の購入計画に関すること
		学校教育に係る市職員の給与及び旅費に関すること
		学校教育に係る諸研究の補助事業に関すること
		学校教育関係行事に関すること
		市奨学資金及び奨学生に関すること
		所管自動車の運行管理に関すること
		その他、係に関すること
	学校教育係	小学校及び中学校教職員の定数、任免その他人事に関すること
		学齢児童及び生徒の就学に関すること
		学級編成に関すること
		教職員の研修及び割振りに関すること
		教科書その他教材の採択及び取扱いに関すること
		健康管理及び給食に関すること
		通学路に関すること
		通学区の設定及び変更に関すること
		児童・生徒指導に関すること
		就学が困難な児童及び生徒の認定に関すること
		独立行政法人日本スポーツ振興センターに関すること
		児童生徒の教育相談に関すること
		教育研究所の設置運営に関すること
食品放射能濃度測定に関すること		
その他、係に関すること		

業務分類の単位		業務の概要	
生涯学習課	生涯学習係	生涯学習の推進に関すること	
		社会教育の振興に関すること	
		家庭教育の支援に関すること	
		青少年の健全育成に関すること	
		青少年センターに関すること	
		成人式に関すること	
		社会教育委員会及び公民館運営審議会に関すること	
		各生涯学習施設との連絡調整に関すること	
		生涯学習・社会教育関係団体の指導育成に関すること	
		その他、係に関すること	
	文化振興係	文化及び芸術の振興に関すること	
		文化芸術関係団体に関すること	
		文化財の指定に関すること	
		文化財の保護に関すること	
		埋蔵文化財に関すること	
		文化財保護審議会に関すること	
		博物館との連絡調整に関すること	
		その他、係に関すること	
	公民館	公民館の運営及び管理に関すること	
		公民館講座に関すること	
		自治公民館活動、コミュニティ活動の活性化に関すること	
		花いっぱい運動に関すること	
	図書館	図書館運営等の管理に関すること	
		図書館協議会に関すること	
		その他、係に関すること	
	さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－	管理係	博物館の施設及び設備の管理並びに整備に関すること
			博物館に係る予算経理その他庶務に関すること
			さくら市博物館協議会に関すること
			さくら市博物館資料評価委員会に関すること
			勝山城跡の整備に関すること
関係機関及び関係団体との連絡調整に関すること			
さくら市史編さん委員会に関すること			
学芸係		さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－の企画展、講座、体験学習、調査研究等の事業運営に関すること	
		さくら市の歴史資料の調査、保存、活用に関すること	
		その他、係に関すること	

業務分類の単位		業務の概要
スポーツ振興課	生涯スポーツ係	スポーツ教室、講習会等の開催に関すること
		スポーツ団体及びレクリエーション団体の指導育成に関すること
		体育協会その他関係団体に関すること
		スポーツ推進審議会に関すること
		スポーツ推進委員に関すること
		市民体育祭の運営に関すること
		生涯スポーツの推進に関すること
		課内の庶務に関すること
	施設係	スポーツ施設の設置及び管理に関すること
		さくら市氏家体育館及び喜連川体育館に関すること
		さくら市総合公園の管理に関すること
		さくら市総合公園プールの管理及び運営に関すること
		さくら市菖蒲沢公園の管理に関すること
		学校施設の開放に関すること
		さくら市喜連川B & G海洋センターの管理及び運営に関すること
さくら市鬼怒川運動公園の管理に関すること		

4 指標並びに運営方針・努力点

◇さくら市教育委員会

すべての職員が、「一人ひとりの市民が考えるさくら市の教育推進、文化の向上」の具現化を目指し、関係者の努力と相まって生涯学習全般の充実発展を図り、子どもから大人まですべての市民が最大限に伸長する充実した教育・文化活動の支援を期す。

◇さくら市教育委員会運営方針

(1) 基本方針

① 前向きに努力する教育委員会

教育・文化の振興充実の責務を果たすためには、常に担当分野の調査・研究を深め、長期的展望をもつことが大切である。さらに、他との緊密な連絡に努め、調和と統一を保って職務の遂行に当たる。

② 信頼され、親しまれる教育委員会

学校教育・社会教育全般の先導的指導と背後的援助を行い、教育効果を高めることが教育委員会の究極の使命である。従ってすべての面において、すべての関係者から信頼されるよう責任ある執行に努める。さらに各課、各館との連絡を密にし、市民サイドに立った教育行政を推進する。

③ 開かれた教育委員会

各小中学校、家庭・地域及び関係諸団体と十分な連携のもとに、絶えず工夫・改善に努め、明るい雰囲気醸成に努力する。

(2) 努力点

ア 教育委員会各課、各館の分掌事務については、多岐にわたるので必要な場合には全員で処理に当たる。そのために他係との連絡を密にし、また、よりよい人間関係をつくり、和をもって執行することに努める。

イ 情報社会における情報の収集、管理及び保護は極めて重要であり、そのためよりよい方法を工夫改善するように努める。

ウ 研修は、いかなる分野においても必要であって、専門分野はもちろん広く自分自身を高める努力を忘れずに市民、教職員、関係者の信頼を得られるようにする。

エ 学校や市民があつてこそその教育委員会である。従って各学校、市民各位の意見やニーズを十分取り入れ、他機関・団体との連携を密にして、その運営の改善に当たる。

オ 接遇の善し悪しは、信頼につながる問題である。あいさつの徹底、来客の接遇、応接用件の受領、伝達、電話の応対、文書の返信についても誠意をもって当たる。

カ 地方公務員法第35条（職務に専念する義務）に従い、全力で、またサービスの精神で職務を遂行する。

Ⅲ 教育財政

1 平成29年度教育予算

教育費総額（幼稚園費含む）

（単位：千円）

平成29年度	平成28年度	比較増減	総予算額	総予算額に対する割合(%)
1,952,160	2,829,690	▲877,530	17,400,000	11.22%

教育費内訳

（単位：千円）

区 分 (項)	内 訳 (目)		
1 教育総務費 471,125	(1) 教育委員会費 3,171	(2) 事務局費 462,872	(3) さくら市教育研究所費 5,082
2 小学校費 290,172	(1) 学校管理費 194,811	(2) 教育振興費 95,361	
3 中学校費 143,240	(1) 学校管理費 111,714	(2) 教育振興費 31,526	
5 社会教育費 468,262	(1) 社会教育総務費 114,551	(2) 青少年対策費 5,310	(3) 文化財保護費 26,965
	(4) 人権教育推進費 25	(5) 生涯学習推進費 6,045	(6) 公民館費 64,840
	(7) 図書館費 148,629	(8) 博物館費 95,394	(9) 郷土史編さん費 6,503
6 保健体育費 445,962	(1) 体育総務費 98,948	(2) 体育施設費 261,169	(3) 学校給食費 85,845

2 平成29年度主要事業

(単位：千円)

区分 所管	事務事業名	事務事業内容	予算額
学	小学校施設補修整備事業	小学校施設の補修全般	12,360
		氏家小学校体育館防球ネット設置工事、熟田小学校AV放送設備機器更新工事、上松山小学校物置基礎設置工事、南小学校西側渡廊下屋根塗装工事、喜連川小学校キャノピー軒樋改修工事	
	小学校管理事業	小学校施設の維持管理 ほか	117,782
	中学校施設補修整備事業	中学校施設の補修全般	24,252
氏家中学校テニスコート修繕工事、喜連川中学校柔剣道場屋根改修工事			
校	中学校管理事業	中学校施設の維持管理 ほか	59,321
	非常勤講師活用事業	平成29年5月1日現在、45名の非常勤講師等と6名の理科支援員を各学校に配置し、特色ある授業や個に応じた支援の展開、特別に支援を要する児童生徒への細やかな指導を行う。	95,543
	外国語教育推進事業	小学校に市直接雇用の英語指導助手4名と英語活動支援員2名を派遣し、小学校における英語活動、外国語活動の推進を図る。 中学校においては、市直接雇用の英語指導助手3名を配置し、言語活動・国際理解教育の推進を図る。	29,877
教	外国語教育推進事業	小学校に市直接雇用の英語指導助手4名と英語活動支援員2名を派遣し、小学校における英語活動、外国語活動の推進を図る。 中学校においては、市直接雇用の英語指導助手3名を配置し、言語活動・国際理解教育の推進を図る。	29,877
育	スクールカウンセラー活用事業	いじめや不登校等、児童生徒の問題行動等の対応にあたり、臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラー等を配置し、学校教育相談の充実を図る。県費で2校、市費で8校に配置。 また、教育委員会にスクールソーシャルワーカー1名を配置し、保護者や不登校児童生徒などの対応に当たる。	6,021
課	学校経営基盤整備事業	学級経営状況を分析するQ-U調査（心理検査）を実施し、望ましい人間関係づくりを指導しながら学級経営の充実そして問題行動等の未然防止を図る。	685

(単位：千円)

区分 所管	事務事業名	事務事業内容	予算額
学 校 教 育 課	教育研究所運営事業 (さくら市教育研究所)	研究校を指定し、新学習指導要領に示される「身につけさせたい力」をつけるため、実践を通じた研究を推進する。 教職員の資質向上を図るための各種研修を実施する。	4,253
	適応支援教室運営事業	不登校等の児童生徒が社会的な自立に向けての力を養うための居場所とすることを目的に、さくら市独自の適応支援教室ふれあい学級「つばさ」(平成22年9月に開設)の運営を行う。	6,843
	市立中学校国際交流事業	海外でのホームステイを通し、外国の風土、文化、人々との異文化体験学習から、学ぼうとする意欲や実践力を、また、語学力の向上と国際性豊かな感覚を身に付け、将来の地域社会の発展に貢献できる人を養う。 オーストラリア派遣 中学3年生 20名 アメリカ派遣 中学2年生 18名	10,800
	スクールバス管理事業	喜連川小学校児童の登下校のためスクールバス(中型5台、小型2台)を民間委託により運行する。	32,141
	教育支援委員会運営事業	適正な教育支援及び教育的措置を図るためさくら市教育支援委員会を設置し、幼児児童生徒の就学、就学猶予又は減免の措置に関することや、普通教育又は特別支援教育への措置及び教育支援に関することを行う。	208
生 涯 学 習 課	生涯学習推進事業	生涯学習推進体制の整備、計画の推進、生涯学習推進事業(さくら市民大学、でまえ学び塾、ゆめ!さくら博、振興大会)の開催、学習情報提供	5,737
	社会教育・家庭教育支援	家庭教育通信の発行、家族フェスタ開催	2,005
	学社融合促進事業	学校支援地域本部事業・学校開放講座	308
	市指定文化財修理補助事業	市指定文化財の保護修理に対する補助	854
	瀧澤家住宅保存事業	瀧澤家住宅の維持管理	23,396
	青少年センター事業	青少年の教育・相談・指導等を目的に運営	4,176
	成人式開催事業	成人式の実施	1,177
	放課後子ども教室推進事業	ふれあいスクール実施	348
図書館管理事業	図書館運営	100,029	

(単位：千円)

区分 所管	事務事業	事務事業の内容	予算額
ミ ュ ー ジ ア ム	特別・企画展開催事業	第20回 栃木日展作家展 さくら市ミュージアム収蔵作品展 山をたずねて 栃木県立博物館連携事業・地域移動博物館 たんけん!はっけん!昆虫大集合 第77回「国際写真サロン」展 全日本写真展2016 第72回春の院展 栃木展 さくら市の歴史と文化 喜連川のお殿さま 第15回 こども絵画展 第21回 栃木日展作家展 開館25周年記念 松尾敏男展～大観・南風・寛方の系譜を継ぐ～	9,996
	ミュージアム施設維持管理 事業	施設・勝山城跡等の維持管理費	30,623
	さくら市歴史資料保存・活 用事業	市内所在の歴史資料の調査・保存・活用の推 進 歴史的行政文書の評価選別業務委託料	6,499
公 民 館	氏家公民館運営事業	施設の維持管理	28,172
	喜連川公民館運営事業	施設の維持管理	13,410
	公民館講座事業	学級・講座の実施	1,919
	自治公民館事業	自治公民館活用事業の実施	105
	自治公民館運営補助事業	補助金の交付	1,704
	自治公民館連絡協議会補助事業	補助金の交付	146
	自治公民館建設補助事業	補助金の交付	92
花いっぱい運動推進事業	花いっぱい運動の推進	600	
ス ポ ー ツ 振 興 課	スポーツ推進審議会・ スポーツ推進委員設置事業	ニュースポーツの普及・各種スポーツ事業へ の参加	1,758
	各種スポーツ大会・ 教室開催事業	スポーツ教室・市民ハイキング・市民体育祭・ さくら市マラソン大会等の開催、県民スポー ツ大会・地区スポーツ大会・地区駅伝大会等 への参加	20,340
	各種体育施設管理事業	氏家体育館等体育施設管理費、総合公園（野 球・テニスコート・スタジアム）等有料公園 施設管理費、小学校体育館等の開放管理費 （大型工事は別途計上）	127,520
		[大型工事]：喜連川高校跡地第2グラウンド 人工芝化	100,000
プール開設事業	市内のプール開設に伴う管理費	33,649	

IV 学校教育

1 基本方針

現行の学習指導要領では、完全学校週五日制のもと、特色ある教育活動を展開し、子どもたち一人一人の「生きる力」を培うことを基本的なねらいとしている。この理念は、平成32年度以降に実施される新学習指導要領（小・中）においても同様である。

さくら市教育委員会としても、この学習指導要領の趣旨を十分理解し、さくら市教育目標を達成すべく、さくら市学校教育目標「一人一人に生きる力の育成をめざす学校教育の充実」を基に学校教育を推進していく。

2 今年度の重要施策と具体策

		重要施策	具体策
I 生きて働く知識・技能の習得	1 確かな学力の育成	①深い学びに向けた授業推進	ア 市授業力向上研修 イ 学校課題・研究授業支援
		②各種調査の実施と結果活用	ア 市独自の学力調査の実施 イ とちぎっ子学力向上応援団派遣事業（上松山小、南小、氏家中）
		③理数教育の充実	ア 理数教育に係る授業の充実 【理科支援員の運用（小学校）】 【数学担当非常勤講師による学習支援（中学校）】
	2 健やかな体の育成	①食育の推進	ア 栄養教師、栄養職員のTT授業推進 イ お弁当の日を活用した食育啓発 ウ 親子料理教室の実施 エ 市採用栄養士の配置による支援
		②心身の健康	ア BOKSプログラムの深化 （氏家小学校・押上小学校・熟田小学校・南小学校）
	II 学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性の育成	3 豊かな心の育成	①相手を思いやる心の教育の推進
②読書活動の推進			ア 読書活動推進員（図書事務員）の運用 イ 朝の読書活動の推進 ウ さくら市の100冊の改訂作業

<p style="text-align: center;">Ⅱ 学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性の育成</p>	4	特別支援教育の充実	<p>①早期教育相談の実施</p>	<p>ア 早期教育相談会の実施 イ 市保健センター早期教育相談（とまと教室、のびのび発達相談）との連携</p>
			<p>②配慮児童生徒へのきめ細やかな支援</p>	<p>ア 市独自の非常勤講師等による支援 イ 個別の支援教室の設置・運営</p>
	5	問題行動（いじめ・不登校等）の未然防止・対応	<p>[防止] ①望ましい学級・集団づくりの推進</p>	<p>ア Q-U調査の実施と活用による学級集団づくりの推進【学級経営基盤整備事業】 イ 各校における望ましい人間関係づくりの推進</p>
			<p>[対応] ②悩みを抱える子ども、保護者等の支援</p>	<p>ア さくら市適応支援教室「つばさ」の運営 イ スクールカウンセラーの活用 ウ 市独自の教育相談員による支援</p>
<p style="text-align: center;">Ⅲ 未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力の育成</p>	6	校種間の円滑な接続	<p>①小中一貫（連携）教育の研究</p>	<p>ア 小・中が連携した学習活動等の推進 イ 研究班の編成、協議</p>
			<p>※実践研究「小中連携のための実践研究」</p>	<p>ア 小中連携のための実践研修（第3ステージ） 研究指定校：喜連川中学校、喜連川小学校</p>
			<p>②幼・保・小の連携推進</p>	<p>ア 幼・保・小が連携した活動の推進【幼・保・小連絡協議会】</p>
	7	地域学習・国際理解教育の推進	<p>①地域学習、体験活動の推進</p>	<p>ア 校外バス借り上げによる体験活動推進 イ 地域教材の作成検討</p>
		<p>②国際理解教育の推進</p>	<p>ア 外国語教育の推進 イ 中学生海外派遣【中学生の国際交流事業】</p>	

	重要施策	具体策
Ⅰ 教育の資質向上	①教師の使命感・専門性の向上	ア 指導力向上研修の充実 イ 研究授業の相互参観の実施
	②教師の総合的な人間力の向上	ア 遭遇の向上 イ 保護者や地域の方との連携・協力
	③特別支援教育への理解促進	ア 教員対象の講演会
Ⅱ 学校の指導体制の整備	①非常勤講師等配置	ア 非常勤講師等配置の充実
	②不登校への対応強化	ア 関係機関との連携 イ 適応支援連絡会議 ウ スクールカウンセラーの効果的な活用 エ スクールソーシャルワーカーの効果的な活用
Ⅲ 教育環境の整備	①信頼される学校づくりの推進	ア ホームページの活用 イ 道徳の時間を中心とした地域への授業公開の推進
	②地域が学校を支える体制整備	ア 地域の教育力を生かした交流活動の実施 (喜連川小学校・氏家小学校) 【学校支援地域本部事業の推進】
	③ICT教育の推進	ア タブレット端末の活用 イ デジタル教科書の活用
	④施設整備の充実	ア 校務支援システムの運用 イ 長寿命化計画等に基づいた老朽化対策
	⑤防災教育の推進	ア 緊急地震速報受信機を利用した避難訓練
	⑥奨学金の充実	ア 給付型奨学金の活用

3 さくら市立学校の概要

(1) 各学校の教育目標と学校課題（研究課題）

	学校名	教育目標	学校課題（研究課題）
1	氏家小学校	豊かな心と自ら学ぶ意欲をもつ たくましい児童を育成する よく考える子（かしこさ） なかよくする子（やさしさ） 体をきたえる子（たくましさ） 「今日が楽しく明日が待ち遠しい学校」 めざす学校像：「すべての子どもが輝く学校」	新しい学習指導要領の趣旨を活かした授業の展開 ～考える道徳の時間と 英語活動・外国語活動の よりよい授業を目指して～

	学校名	教育目標	学校課題（研究課題）
2	押上小学校	基本目標 豊かな心と主体的に学ぶ意欲をもち、たくましく生きる児童を育てる 具体目標(目指す児童像) なかよくする子（徳育） かんがえる子（知育） たくましい子（体育）	「自ら考え、豊かに表現できる児童の育成」 ～読み取る力を伸ばす指導の工夫～
3	熟田小学校	自らの夢に向かって未来を力強く切り拓いていく、知恵とたくましい心と体を育みながら、人間性豊かな児童を育成する 進んで学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子 校風「みんな 伸びよう かたくんで」	学ぶ喜びと楽しさを実感し、確かな学力を身に付ける児童の育成 ～「ねらい」「指導」「振り返り」のつながりを意識した授業づくりを通して～
4	上松山小学校	社会の変化に自ら対応でき、創造性に満ち、健康でたくましく、心豊かな人間の育成を図る かんがえる子（かしこさ） なかよくする子（やさしさ） げんきな子（たくましさ）	主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善 ～協働的な学びを通して思考力・判断力・表現力を高める～
5	南小学校	人間尊重の教育を基盤に、豊かな心をもち、主体的に生きていくことのできる心身ともに健康でたくましい人間の育成を目指す 基本目標 たくましい子 具体目標 よく考えて勉強する子(かしこさ) 思いやりのある子(やさしさ) からだを丈夫にする子(たくましさ) 「一人一人が主役『明るく楽しく輝く』緑の南小学校」	自分の考えをもち、自ら表現できる児童の育成をめざして ～算数科の授業改善・学習指導法の工夫～
6	喜連川小学校	知育、徳育、体育の調和を図り、「生きる力」を育成する 自ら学ぶ子 思いやりのある子 健康な子	小中連携の推進を図り、心豊かで自ら学ぶ児童・生徒の育成 ～「話す・聞く」活動を通して～
7	氏家中学校	1 学業に全力を尽くす生徒 2 情操豊かで思いやりのある生徒 3 健康で気力ある生徒 4 進んで働く生徒	思考力・判断力・表現力を育む学習活動の工夫 ～「小集団活動」の効果を生かした授業を通して～
8	喜連川中学校	心豊かで健やかな体をもち、自ら学ぶ意欲と社会の変化に対応する実践力を備え、豊かに自己実現できる生徒を育成する ○自ら学ぶ生徒 ○思いやりのある生徒 ○健康な生徒 ○働く生徒	小中連携の推進を図り、心豊かで自ら学ぶ生徒の育成 ～主体的・対話的で深い学びの推進～

(2) 小中学校施設状況

学 校 名	校 地		校 舎				
	面積㎡	児童1人 当たり㎡	建設年月日	構 造	面積㎡	児童1人 当たり㎡	普通教室
氏 家 小	34,710	40.64	後：S48年3月、9月 前：S50年3月、6月 東：H27年3月	鉄筋コンクリート	7,848	9.18	28
押 上 小	30,628	170.15	H1年8月	鉄筋コンクリート	3,951	21.95	12
熟 田 小	29,518	199.44	東：S46年2月 西：S63年1月	鉄筋コンクリート	3,731	25.20	6
上松山小	30,676	69.56	東：S54年3月、6月 西：S62年3月	鉄筋コンクリート	4,216	9.56	16
南 小	42,357	81.29	南：S53年3月 北：H26年7月	鉄筋コンクリート	5,869	11.26	19
喜連川小	26,116	54.07	後南：H21年10月 前北：H21年10月	鉄筋コンクリート	6,328	13.10	19
氏 家 中	69,719	67.62	後：S58年2月 前：S59年7月	鉄筋コンクリート	9,047	8.77	34
喜連川中	73,329	317.44	S57年9月	鉄筋コンクリート	4,894	21.18	11

(3) 教職員数

学 校 名	県 費 教 職 員															
	校 長		教 頭		主幹教諭		教 諭		助教諭・講師		養護教諭		養護助教諭		事務職員	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
氏家小	1		1	1	1		12	22	1	2		2			1	1
押上小	1		1				5	3				1			1	1
熟田小	1		1				3	5				1				1
上松山小	1			1			10	9				1			1	
南 小	1			1			8	14		2		1				1
喜連川小	1		1				8	13	1	1		1			1	1
氏家中	1		2		1		28	26	1	2		2				2
喜連川中	1		1				4	11				1				1

保有教室		屋内運動場				プール	
		建設年月日	構造	面積㎡	児童1人 当たり㎡	建設年月日	コース数
特別教室	管理室						
21	5	S51年9月	鉄骨	1,198	1.40	H3年3月	8
6	4	H2年2月	鉄筋コンクリート	923	5.12	H2年2月	6
14	4	S56年3月	鉄骨	878	5.93	H5年3月	6
9	4	S55年3月	鉄骨	742	1.68	H10年3月	6
17	5	S53年3月	鉄骨	742	1.42	H7年3月	6
14	3	H2年3月	鉄骨	1,092	2.26	H2年3月	8
25	6	第1体育館 S56年3月	鉄骨	1,848	1.79	H5年3月	9
		第2体育館 H28年10月	鉄筋コンクリート	2,507	2.43		
22	4	S58年3月	鉄骨	1,293	5.59	S63年6月	7

(※平成29年5月1日現在)

栄養教諭・ 栄養職員		計			市 職 員									総計	
					非常勤講師 等・理科支 援員	英語指導助 手・英語活 動支援員	栄養士	図書 事務員	労務職員	給食 配膳員	計				
男	女	男	女	計	臨	臨	正	臨	臨	正	臨	臨	正	臨	
	1	17	29	46	11	2			1		1		0	15	61
		8	5	13	4	1		1	1		1		0	8	21
		5	7	12	5				1		1	1	0	8	20
	1	12	12	24	7	1			1		1		0	10	34
		9	19	28	9	1	1		1		1		1	12	41
	1	12	17	29	9	1			1		1	2	0	14	43
	1	33	33	66	4	2			1	1	1		1	8	75
		6	13	19	4	1			1		1	1	0	8	27

※産休、育休、内地留学、大学院派遣、在外教育施設派遣等を含める

(4) 学校所在地及び児童生徒数

学校名	校長名	所在地	創立年月日	電話番号				
					1年		2年	
					人数	学級数	人数	学級数
氏家小	北原 博司	さくら市氏家2491	明6.2.28	682-2758	122	4	141	5
押上小	菅間 登	長久保814	明8.3	682-6844	23	1	34	1
熟田小	沼尾 昇	狭間田1702	明4.4	682-6850	24	1	22	1
上松山小	斎藤 学	氏家3496	明26.1.7	682-5719	80	3	89	3
南 小	宇野 昌男	氏家1061-3	昭53.4.8	682-9494	97	3	93	3
喜連川小	岩崎 奨	喜連川3911	明6.5.26	686-2029	73	3	59	2
計					419	15	438	15
氏家中	小林 和弘	氏家3243	昭22.4.1	682-2204	332	10	353	11
喜連川中	岡安 正弘	喜連川5691	昭58.4.1	686-2058	68	2	68	2
計					400	12	421	13

(平成29年5月1日現在)

学年別児童生徒数・学級数										計		
3年		4年		5年		6年		特別支援学級		人数	学級数	
人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数		通常学級	特支学級
140	4	136	4	154	4	146	4	15	3	854	25	3
24	1	32	1	34	1	33	1			180	6	0
29	1	27	1	26	1	20	1			148	6	0
65	2	69	2	77	2	53	2	8	2	441	14	2
80	3	98	3	72	2	66	2	15	3	521	16	3
89	3	77	2	81	3	87	3	17	3	483	16	3
427	14	439	13	444	13	405	13	55	11	2627	83	11
327	10							19	3	1031	31	3
86	3							9	2	231	7	2
413	13							28	5	1262	38	5

4 教育諸団体の事業計画

さくら市では、教職員の資質向上と学校教育の推進を図るため、予算計上を行うとともに、各種研修事業等を行っている。

(1) 教育諸団体

名 称	対 象	期 日	内 容
校長会 (会長：岩崎 奨)	小中学校長	月1回	・学校教育全般及び基本問題に関すること ・課題研修についての協議
教育会 (会長：宇野 昌男)	全教職員	必要回数	・会員相互の学術向上、親睦を深めること ・各種スポーツ大会への参加
教頭会 (会長：鈴木 勝久)	小中学校 教頭	月1回	・学校教育活動の計画・立案・運営に関すること ・課題研修についての協議
主幹教諭・教務主任会 (会長：亀山 雅昭)	小中学校 教務主任	月1回	・各学校の教育課程実施上の課題に関する こと ・課題研修についての協議
学校事務部会 (会長：和田 利江)	小中学校 事務職員	必要回数	・財政事務の適正化・円滑化に関すること ・事務改善についての研修
学校保健会 (会長：沼尾 昇)	保健主事、 養護教諭等	必要回数	・学校保健に関すること ・学校保健の充実についての研修
特別支援教育研究会 (会長：北原 博司)	特別支援学 級設置校長	必要回数	・特別支援学級の学習指導、学級経営につ いての研修 ・関連行事の計画・運営に関すること
教育支援委員会 (会長：小林 和弘)	委員委嘱	年3～4回	・教育支援に関すること ・特別支援教育に関する研究
幼稚園・保育園・小学校 連絡協議会 (会長：齋藤 学)	運営委員	合同研修、 ブロックご とに随時	・幼稚園・保育園・小学校の連携に関する こと ・子どもの学びと育ちに関する研修

(2) さくら市教育研究所

さくら市では地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条の規定に基づき、教育に関する調査研究及び教育関係職員の研修を行うために、「さくら市教育研究所」を設置する。

1 調査研究

学校教育における基本的・今日的課題についての調査研究を行い、今後の指導の充実を図る。

(1) 指定校研究「生きて働く知識・技能の習得」のための実践研究事業

「学びに向かう力・人間性」を育成するための実践研究事業

「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力」を育成するための実践研究事業

・研究内容 研究校にて進め、成果を市内に広げる。

研究課題と研究校は次のとおり。

①授業力の向上に向けた実践研究（上松山小、南小、氏家中）

②健やかな体づくりのための食育推進研究（栄養職員部会）

③道徳の教科化に向けた実践研究（全小学校）

④小中連携推進のための実践研究（喜中、喜小）

⑤小学校外国語科・外国語活動の先行実施に向けた実践研究（氏家小）

(2) 調査研究「さくら市児童生徒の学力向上について」

・調査内容 全国学力・学習状況調査や県版学力調査をふまえた、さくら市の児童生徒の学力向上策を検討する。

(3) 研究奨励

・奨励金により個人の研修補助、研究団体等の研究を奨励する。

2 教育相談

さくら市の子どもや保護者との共感的理解に基づいた教育相談の充実を図る。

・教育相談員 3名（適応支援教室つばさに配置）

3 教職員研修

さくら市学校教職員の研修を設け、教育職員としての専門性の向上を図る。

	研修名	対象	期日（目安）	内容
1	市内小中学校授業公開・授業力向上研修	原則として、全教職員	別紙計画にて実施	・研究授業・授業研究会を他校の教職員に公開できるよう機会を設け、相互に参観・参加します。先生方の授業力の向上そして学校間の相互理解と連携を深めます。

	研修名	対象	期日(目安)	内容
2	情報教育推進委員会	校長代表1名 情報主任など (各校1名)	9月 12月 2月	・現在導入されている電子黒板や周辺機器、校務支援システムなどの活用状況を確認し、今後の整備に向けて話し合う。
3	学力調査検討会議	学力向上担当者など (各校1名以上)	2月	・12月に実施する市独自の学力調査結果の分析をもとに、各校の課題解決のための具体的な方策を考える。また、専門家の意見を受けて、新たな視点から検証する機会とする。 【講師：未定】
4	愛着障害と発達障害	児童指導主任 生徒指導主事 教育相談担当 希望者	8/2(水)	・愛着と発達障害について学び、各学校の実態を踏まえながら解決策を探ります。 【講師：スーパーバイザー 小林 順子 様】
5	シリーズ研修[SⅠ] 市非常勤教育職員 スキル&フォロー アップ研修	市採用非常勤教育職員	別紙計画にて実施(全2回)	A スキルアップ編 《研修の詳細は別途連絡》 ・児童生徒指導や特別支援教育等、非常勤教育職員の方々のスキルアップを目指す研修です。
	○市非常勤教育職員のスキルアップとフォローアップを目指す研修です。	Aの一部については希望者も参加可	後日調整 各校にて実施	B フォローアップ編 《研修の詳細は別途連絡》 ・市教委職員が学校に伺い、授業参観や面接をとおして、非常勤教育職員の方々のフォローアップを行います。
6	シリーズ研修[SⅡ] 学校図書事務研修	市採用図書事務員	別紙計画にて実施(月1回程度)	・図書事務員のスキルアップとネットワークづくりを目指した研修です。電算化された学校図書の活用や、子どもたちの読書活動の推進を図る方策も考えます。《研修の詳細は別途連絡》
7	シリーズ研修[SⅢ] 理科支援員研修	市採用理科支援員	別紙計画にて実施(月1回程度)	・理科支援員のスキルアップとネットワークづくりを目指した研修です。実験などの準備や片付けの仕方や、授業中の支援の在り方を考えます。《研修の詳細は別途連絡》
8	シリーズ研修[SⅣ] 個別の支援教室支援員研修	個別の支援教室支援員	別紙計画にて実施(年5回程度)	・個別の支援教室を担当している支援員どうして情報交換をしながら、よりよい支援のあり方、教室の運営などを協議します。

	研修名	対象	期日(目安)	内容
9	シリーズ研修 [SV] 市採用外国語指導 助手・ALT研修 ○外国語活動や英語 活動、中学校の外国 語科の授業の工夫に ついての研修です。	市採用外国 語指導助手・ ALT	別紙計画にて実 施(年5回程度)	・市採用外国語指導助手・ALTどうし で情報交換をしながら、資質の向上 を目指した研修です。授業の工夫に ついて考えることにより、学習指導 に役立て、指導力の向上を図ります。

(2) 希望研修(希望する先生方の研修です)

	研修名	対象	期日(目安)	内容
1	地域を学ぶ 「SAKURA学」 研修	・希望者	8/9(水)	・市内をめぐりながら市の文化、芸術、 歴史等を学習。社会科、総合学習での 地域調べなどにも生かせる内容を実 施します。
2	楽しい理科実験研修	・希望者	6/20(火)	・学校会場で授業で科学教室を実施。 その後、理科実験に使えるものづくり 等を行います。 【講師：宇都宮大学教育学部 人見 久城 先生】
3	保護者への理解研修	・希望者	8/7(月)	・保護者の訴えに向き合う姿勢を整え、 人間的基盤に立った処理能力を身に つけます。また、対応の技術を理解す ることで、対応に意欲と自信をもたら します。 【講師：話し方教育センター 伊槻 紀子 様】

(3) 自主研修

	研修名	対象	期日(目安)	内容
※	ステップアップ研修	・希望者	毎月末 木曜日	・学級経営のポイントやこだわり実践、 おもしろエピソードなどを先輩教師 から聞いたり、学習指導や児童生徒 指導などの悩みを話し合っ解決の 糸口を探ったりします。 ・学校を超えた先生方のネットワー クづくりも目指します。

5 平成29年度研究学校・研究事業等について

指定	No	研究領域・事業名	指定期間	指定校等
文部科学省	1	スクールカウンセラー活用事業	平成29年度	(拠点校) 氏家中学校 喜連川中学校
県教委	2	学力向上応援団派遣事業	平成29年度	上松山小学校 南小学校 氏家中学校
市教委・市教研	3	小中連携推進のための実践研究 (第3ステージ)	平成27～ 29年度	喜連川中学校 喜連川小学校
	4	健やかな体づくりのための食育推進研究	平成29～ 30年度	献立研究会(栄 養士、栄養教 諭)
	5	実践研究 授業力の向上に向けた実践研究	平成29年度	上松山小学校 南小学校 氏家中学校
	6	道徳の教科化に向けた実践研究	平成29年度	全小学校
	7	小学校外国語科・外国語活動の先行実施に向 けた実践研究	平成29年度	氏家小学校
	8	理科支援員配置事業	平成29年度	全小学校
	9	個別の支援教室設置・運営研究	平成29年度	押上小学校 熟田小学校 南小学校 喜連川小学校

6 喜連川給食センター

今日、国民生活の繁栄の中で、生活様式には多様化が見られるようになってきている。児童・生徒の体位も食生活の改善によって欧米並みに向上しているが、その反面、栄養の偏りによる生活習慣病や不規則な食生活（孤食や朝食ぬき）、運動不足による肥満、貧血などが見られる。

このため、成長期にある児童・生徒の健康の増進と体位の向上に努めるため、学校給食においては、栄養バランスのとれた質の高い給食サービスに努め、学校・家庭と連携して食生活の指導を行いながら心身ともに健全で健康な児童・生徒の育成に努める。

1) 本年度の努力点

- 1 楽しい、魅力ある学校給食にするため、創造性のある献立と栄養バランスを配慮した給食づくりに努める。
- 2 学校給食の献立と栄養バランスを家庭にお知らせする。
- 3 良質な食材の確保と調理法の創意工夫により食事内容の充実を図る。
- 4 調理技術の向上を図り、学校給食を能率的衛生的に実施する。

2) 食中毒防止対策

〈調理員に対する衛生管理〉

毎日、作業開始前に、健康状態、衛生面について検査を行う。

手指に化膿した傷等がある場合は、給食従事者を調理作業に従事させない。

作業区分ごとの手洗い、手指の消毒を徹底する。

〈調理器具の消毒〉

調理台、調理器具、コンテナなどの消毒は、薬品を使って完全に実施する。

〈納入された食品の安全確認〉

納入時に、納入日時、品名、規格、数量、期限表示、製造、販売業者名、生産地、納入業者名など、検収表に記入し、安全性を確認する。

〈食材の加熱処理〉

食品は加熱調理する。（くだものは除く）

加熱調理する時は、中心温度計を用い、食品の中心温度が85℃以上1分間になったことを確認してから配缶する。

3) 学校給食の概要

1 形態 完全給食 (週5日…米飯週3日・パン週2日)

2 給食回数等

(4月1日現在)

	給食回数 (年間)			1食当たりの量			給食費 (月額)
	米飯 回	パン 回	牛乳 回	米飯	パン	牛乳	
小学校	130	64	194	低学年 70g 中学年 80g 高学年 100g	1~3年 45g 4~6年 60g	200cc	(年11回徴収) 4,320円
中学校	129	65	194	110g	60g	200cc	(年11回徴収) 5,040円

4) 給食数

(4月14日現在)

	児童・生徒数	職員数	計	学級数
喜連川小	483	41	524	16
ALT (英語指導助手)		1	1	
熟田小	148	20	168	6
ALT (英語指導助手)		1	1	
喜連川中	233	28	261	7
喜連川給食センター		19	19	
合計	864	107	971	29

各学校の職員数には、検食 (1) が含まれています。
喜連川給食センター職員数には放射能汚染検査用
(1) 及び検食 (1) が含まれています。

V 生涯学習・社会教育

1-1 生涯学習・社会教育の基本方針

さくら市第2次総合計画が将来都市像として掲げる「安心して暮らせ、地域・ひと・ものを結ぶ、魅力いっぱいのもち」実現のために、『文化薫る心豊かな人材の育成』と、さくら市教育目標である『心身共に健康で生涯にわたり自己実現し、社会に貢献できる人づくり』を目指す行政運営を行う。

また、「多様で専門的な学習ニーズや地域課題に対する学習環境の整備を充実させるとともに、学校・家庭・地域社会の連携促進の支援」や「市民一人ひとりが自主的な生涯学習活動で習得した成果を地域活動に活かし、市民と行政による協働のまちづくり」を展開する施策に取り組む。

また、人と人をつなぐ家庭・地域づくりを目指す社会教育の充実のため、地域社会における成人の学習機会の充実と学習成果が循環する環境づくりに努める。

1-2 本年度の重点目標

(1) 生涯学習の推進

① 生涯学習推進体制の整備

生涯学習によるまちづくりを総合的、効果的に推進するため、NPO、ボランティアなど様々な団体や個人と行政が協働し、それぞれの役割を分担し、互いの力が発揮できるような生涯学習推進体制の充実を目指す。

② 学習情報提供の充実

市民の学習活動を支援し多様な学習ニーズに応えるために、生涯学習関連施設のみならず多方面の情報収集に努めるとともに、多様な媒体を活用し広く市民への学習機会の情報提供に努める。

③ 学習機会の充実

生涯学習によるまちづくりのために、生涯にわたる学習機会の提供とその学習の成果や人生経験で得た知恵などを生かす機会の充実を図る。

(2) 社会教育の推進

① 家庭教育の推進

家庭教育学習の多様な情報を提供する。また、関係機関・団体等と連携を図りながら家庭教育や子育て情報に関する講座や相談体制の充実を図り、きめ細やかな家庭教育支援に努める。

② 成人教育の推進

市民一人ひとりに対し、家庭生活、社会生活等について学習する機会を提供し、人間と

してより豊かな生活を営み、より豊かな地域社会を創造することができるよう、成人教育の充実を図る。

③ 高齢者教育の推進

高齢期を生きがいに満ちた豊かで充実した生活を送るために、関係機関と連携を図りながら、高齢者の社会参加意欲の高揚、情報の提供、指導者の養成、ボランティア活動等の基盤整備を推進する。

④ 地域の教育力の向上

核家族化や少子化により地域のつながりが希薄化している現在、地域の学習施設を活用した体験学習の提供や、地域ぐるみで子どもたちを守り育む交流学习を通じて、地域・家庭の教育力の向上につなげる。

⑤ 青少年教育の推進

青少年が社会性や公共性を身に付けるために社会参加活動をさらに充実し、青少年の活動意欲の向上、団体活動の育成・支援を積極的に推進する。

(3) 人権教育の推進

人間の尊厳を大切にした地域社会づくりを目指した学習活動をすすめて、人権意識の高揚を目指す。

(4) 学校及び社会教育関係団体との連携

① 児童生徒地域活動の推進

児童生徒の地域活動促進を図るため、青少年ボランティア活動の機会を拡充するとともに、地域の指導者のもと、身近な設備を利用した文化・スポーツ活動、ボランティア活動などの社会参加活動を促進する。

② 社会教育関係団体の育成

各種社会教育関係団体の育成に努め、市民一人ひとりが生涯学習に意欲的に取り組み、より充実した生活が営めるよう学習相談等支援を行う。

③ 地域の教育力の向上

青少年指導者の育成や地域のさまざまな学校支援によりふれあい学習による地域づくりを促進する。

(5) 文化活動の振興

地域に根ざした芸術・文化活動の育成と質の高い文化事業を定期的で開催することで、文化に対する理解の向上を目指し、さらに、市民参加や参画の推進を図る。

(6) 文化財保護の推進

市内に存在する文化財の保存・保護に努めるとともに、郷土の文化財に対する市民の愛護精神を養い、また市の文化財保護行政の向上を図れるようにする。

(7) 社会教育施設事業の推進

① 公民館事業の推進

市民の学習需要に対し総合的に応える社会教育施設として、各種設備機器の整備を推進する。また、市民の学習要求や地域の特性を生かした学習機会の提供に努め、生活文化の向上を目指すとともに、各地区の自治公民館を中心として地域住民が自主的・主体的に学習活動が展開できるよう、ネットワーク化の推進を図る。

② 図書館事業の推進

生涯学習の情報発信基地として、また市民の憩いの空間として、さらに市民参加による市民のための図書館として、資料の整備及び各種の図書館サービスの充実に努めるとともに、多くの市民の利用を促進するため、広報活動の強化や各種事業の実施等の対策を推進する。

さらに、利用者のニーズに迅速かつ的確に対応するため、図書館情報システムの一層の整備を図る。

③ さくら市ミュージアム—荒井寛方記念館—の事業の推進

生涯学習によるまちづくりの推進のため、地域の歴史・文化に関する資料を収集・保存して後世に伝えるとともに、人々が交流し、新しい文化活動の拠点として、ミュージアム活動を展開する。

2-1 本年度の主な施策と事業計画

(1) 生涯学習の推進

① 第二次生涯学習推進計画の推進

第二次生涯学習推進計画に基づき、市民との協働による「学び合い」と「生かしあい」の「まち育み」に取り組む。

② 生涯学習推進重点プロジェクト事業の実施

第一次計画で推進してきた「人づくり」「まちづくり」を発展させ、「ひと育て」「まち育み」を推進するとともに、これからのさくら市を担っていく青少年に焦点を当てた「未来づくり」を新たな重点プロジェクトに加え、3つの柱で生涯学習によるまちづくりに取り組む。

③ 生涯学習情報・相談事業の実施

市民の学習活動を支援し多様な学習ニーズに応えるために、多方面の情報収集に努めるとともに様々な媒体を活用し広く市民への学習機会の情報を提供する。また、市民等の要請に応じて学習相談を随時行う。

④ 生涯学習推進事業の実施

○事業名 さくら市民大学(さくら学)

事業内容 重点プロジェクトのテーマに沿った講座を開催し、幅広い年齢層から受講者を募集する。受講者には、講座修了後にもさくら学で学んだ成果を生かせるような機会を設けるなどフォローアップを行う。

○事業名 でまえ学び塾

事業内容 市民、企業(商店)、公共機関・公益企業や行政が様々な学習メニューを用意し、希望者に学習機会を提供することにより、生涯学習の振興や講師と受講者相互の交流を図る。また、新規講師の登録を進めることで市民ニーズに対応する選択肢の幅を広げ、いつでも、どこでも、だれでも生涯学習にふれることができる環境を整備する。

講座数 152講座(市民編80、行政編68、公共機関・公益企業編4)



生涯学習振興大会
～大好きなさくら市をもっと元気にしよう!～



さくら市学びガイド2017



市民大学「イベント企画講座」



でまえ学び塾「ブリッジを体験しよう」

○事業名 ゆめ！さくら博

事業内容 市民と行政の出店者等が一体となり、実行委員会を組織し、市民に体験を提供したり、作品展示などを行う。また、市民の学びの成果や行政の取り組み等を紹介することで、市民に生涯学習への理解と学びへのきっかけづくりを図る。



ゆめ！さくら博2016

その他、生涯学習振興大会などを実施することで、市民が生涯学習に触れる機会を設ける。

(2) 成人教育の推進

① 家庭教育の充実

○事業名 家庭教育支援講座

事業内容 家庭教育支援を推進するため、庁内組織の横断的な連携と家庭教育支援チームなどの子育てボランティアが連携し家庭教育支援に関する研修や講座を実施する。

○事業名 親子応援講座

事業内容 学習機会に参加しにくい親にも家庭教育の重要性を啓発するため、各小学校の就学時健康診断を利用して、家庭教育オピニオンリーダー等の地域子育てサポーターが保護者に対し講座を実施する。

○事業名 家族フェスタ

事業内容 「家庭のふれあい」をテーマに家庭教育支援チーム、オピニオンリーダーなどの市民ボランティアとの協働で、親子で楽しめる様々な体験を提供する。

○事業名 育ちにくい子をもつ親への支援
(ひだまりふぁんの会)

事業内容 子育てをされていて子どもが育ちにくいと感じている保護者を対象に開催している。定期的に集まり、参加者同士が子育ての悩みを話し合い、専門家からアドバイスを受けられるようになっている。



家族フェスタ2016

(3) 青少年健全育成と家庭・地域の教育力の向上

① 青少年センターによる青少年健全育成活動

事業内容 青少年センターの機能（指導・相談・教育）を柱に、関係機関との連携を



体験活動班 「木工体験＆ピザ作り」

図り青少年健全育成に取り組む。また、市民ボランティアによる少年指導員がセンター活動の主体となり「体験活動班」「研修班」「広報啓発班」「ITC研究班」の4班を編成し、それぞれが独創的な活動を実践する。

② 青少年ボランティア活動事業

事業内容 小学生から高校生までの青少年に、ボランティアとして活動する機会と場を提供するために「さくらユースボランティア」を組織し、活動のコーディネートを行う。



さくらユースボランティア
(イベント支援)

③ 放課後子ども教室推進事業

事業内容 喜連川小学校区と押上小学校区の2地区で実施。地域の大人が指導者となり、放課後の子どもの安全な居場所の提供と地域のボランティアとの交流により子どもの健全育成を目指す。



放課後子ども教室

(4) 社会教育と学校教育の協働推進

① 学校支援地域本部事業

事業内容 学校支援活動の充実を図るために2つの学校支援地域本部事業を展開し、校内における組織づくりやコーディネートシステムの構築、見通しをもった支援のための研修の工夫などに取り組む。また、事業の成果を市内の小中学校へ伝えることで「地域と共に歩む学校づくり」の推進を行う。



喜連川小学校地域応援隊

② 喜連川小学校支援地域本部
(喜連川小学校地域応援隊)

事業内容 地域住民を主体とした喜連川小学校地域応援隊(授業応援隊、図書応援隊、昼休み遊び隊、学びの環境応援隊、お掃除の神様隊、子どもの安心応援隊、子育て応援隊、放課後遊び隊)が活動。

③ 氏家小学校支援地域本部
(氏家小学校SUNさんサポート隊)

事業内容 保護者を主体とした氏家小学校SUNさんサポート隊(図書サポート隊、引率サポート隊、ミシン・裁縫サポート隊、お掃除サポート隊、学習サポート隊、遊びサ



氏家小学校SUNさんサポート隊

ポート隊、環境整備サポート隊)が活動。

④ 地域と学校を結ぶコーディネーター

事業内容 各学校に1～5名を配置。地域の人材、教材、情報を学校と地域社会とで共有・活用する。

⑤ 学校開放講座の実施

事業内容 教職員が持つ技術や知識を地域に還元し、文化、芸術、体育等の市民向け講座を開催する。



地域と学校を結ぶコーディネーター訪問

(5) 芸術・文化の振興

① 文化活動の振興

○定期文化振興事業

事業内容 定期文化事業として、市民が文化や芸術を身近に親しめるコンサートや公演などを、定期的に土曜日もしくは日曜日に、氏家及び喜連川公民館のホール、瀧澤家住宅などを会場として行う。また、積極的な参加だけでなく、市民の事業参画の推進も目指す。

平成29年度はさくら市ゆかりの童謡詩人野口雨情の顕彰と団体交流を目的とした「第12回雨情音楽祭」、雨情と妻ヒロを主人公にしたオペラに対する講座と講座生とプロが共演する発表会や「第11回国際太鼓フェスティバル」を行う他、市民の要望を取り入れ、質の高い公演を有料、無料で実施する。

文星芸術大学と連携して、芸術大学の特徴を生かした、教材の製作を行う。

○児童生徒対象文化芸術振興事業

事業内容 音楽鑑賞教室として、学校の要望を取り入れながら、普段体験をすることの少ない、優れた奏者の生演奏を聞くことを目的に、全小・中学校の全児童生徒を対象で行うものである。なお平成29年度も小学校は補助を得て実施する予定である。



オペラ講座発表会



櫻野八幡宮と相撲行司
記念講演会



音楽鑑賞教室

② 文化財の保護

○文化財の指定、保護、啓発活動

事業内容 後世に残る歴史、民俗、史跡、天然記念物の調査、保護、保存、啓発活動を行う。また、文化財の資料的価値や状況によって特に必要と認められるものを指定し、保護していく。

さくら市指定文化財で、修理等が必要なものについて、修理費等の補助を行う。平成29年度は、今宮神社基礎部分修繕の補助事業を実施予定。

○埋蔵文化財の調査、保護

事業内容 埋蔵文化財包蔵地の周知と、開発等による遺跡の記録保存等をするために、関係団体との調整や発掘調査を行う。また、状況に応じて発掘現場説明会を実施し、普及啓発活動につとめる。

○瀧澤家住宅等の管理と利活用

事業内容 文化振興係では、栃木県指定文化財瀧澤家住宅、さくら市指定史跡堂原地蔵堂境内、荒井寛方の生家跡である寛方タゴール平和公園の管理や利活用を行っている。

瀧澤家住宅は平成29年度も利活用計画に沿って、管理や積極的な公開を実施すると共に、前年度取得した駐車場用地の整備、修理や整備の基盤となる整備計画を策定する予定である。

堂原地蔵堂境内や寛方タゴール平和公園では、伐採や清掃などの、管理業務を継続的に行う。

平成28年度 文化振興係事業実績

○定例文化振興事業

期 日	タイトル	内 容	備 考
6月11日(土) 午後2時～	ゆめ! さくらシネマズ	「風のように」上映と漫画家ちばてつや・森川ジョージ トークショー	氏家公民館 500名参加
6月5日(日) 午前11時～	第11回雨情音楽祭	一般公募団体及びゲスト岩河氏等による雨情音楽の顕彰	喜連川公民館 500名参加
8月7日(日) 午前9時～	夏休み親子映画会 (家族フェスタ)	夏休み親子映画会 ドラえもんの上映と体験事業の共催	氏家公民館 1150名参加
9月18日(日)、 19日(月・祝)	第8回 チアフェスティバル	リンク栃木ブレックスの協力で実施	氏家公民館、氏家体育館 2600名参加
10月29日(土) 午後6時～	ハロウィンライブ	若い世代が楽しめるシクラメン、スーパーボールのライブコンサート	氏家公民館 252名参加
11月26日(土) 午後2時～	ドリームプロジェクト	市民の企画による講座と詩の朗読コンサート	瀧澤家住宅 60名参加
1月9日 (月・祝)	第10回 国際太鼓フェスティバル	第10回を迎える、多様な太鼓の祭典	氏家公民館 418名参加
3月5日(日)	雨情市民オペラ	市制10周年記念事業で実施した市民オペラのダイジェスト版公演	氏家公民館 430名参加

関連講座 チアリーディング体験講座(9月文化事業関連講座) 中学生ボランティアと連携
市民オペラ講座(3月文化事業関連講座)

○瀧澤家住宅公開関連事業

期 日	タイトル	内 容
4月・6月・11月	鐵竹堂一般公開	4月10日(日)、4月16日(土)でまへのコンサート
4月23日～5月 8日	杉山吉伸 絵本うじい えの昔話原画展	杉山吉伸氏の昔話原画(ミュージアム所蔵)の展示 4月24日(日)アリスの会による氏家の昔話 お話し会
5月14日～5月 28日	レコードジャケット展	公開放送に連動した、レコードジャケットの展示 5月28日(土)レディオベリー公開放送
6月18日～7月 3日	たまきはる 命どう宝 荒井退造忌展	栃木県出身で、沖縄警察署長として島民の命を戦火から守った荒井退造を紹介する展示 6月26日(日)記念講演会
8月13日～9月 4日	花森安治とビールのデ ザイン 他	昭和20年代に活躍した花森安治のビールデザインと、スーパードライ開発に携わった栃木出身薄葉久氏の展示
9月10日～10月 2日	櫻野八幡宮と相撲行司 展	相撲に縁の深い櫻野八幡宮の歴史と相撲行司の衣装展示 10月2日(日)記念講演会
3月11日～3月 26日	喜連川の風展	喜連川藩を題材にした時代小説の資料やカバー表紙のイラストなどの展示 3月12日(日)記念講演会

○国・県等の補助事業

期 日	タイトル	内 容	備 考
7月8日(金)～ 10日(日)	ジャンゴ・ラインハルト・ フェスティバル	市民の協働のジャズコンサート (わがまち未来創造事業)	市支出費の1/2が栃木 県より補助
10月中旬～ 11月初旬	音楽鑑賞教室	プロの演奏家を各小・中学校に派遣	各小・中学校(小学校 は文化庁補助事業)

○文化振興係(平成28年度新規事業及び重点事業)

期 日	タイトル	内 容
平成28年度	指定文化財修理事業	本町屋台收藏庫修理、仲町屋台收藏庫修理
平成28年度	瀧澤家住宅事業	駐車場用地取得、大谷石塀緊急補強工事、瀧澤家住宅調査業務
平成28年度～	イヤブック作成事業	文星芸術大学と連携し、地域学習用の冊子を作成

平成29年度 文化振興係事業（案）

○定例文化振興事業

期 日	タイトル(仮題)	内 容	備 考
6月4日(日)	第12回雨情音楽祭	一般公募団体及びゲスト岩河氏等による雨情音楽の顕彰	氏家公民館ホール
7月7日(金)～9日(日)	ジャンゴ・ラインハルト・フェスティバル	市民と共同で喜連川地内の数会場にて行う	喜連川公民館 ほか
8月6日(日)	夏休み親子映画会(家族フェスタ)	夏休み親子映画会 ドラえもんの上映と体験事業の共催	氏家公民館ホール
11月18日(土)	邦楽コンサート&中学生日本舞踊発表	日本舞踊や常磐津の公演と総合的学習の日本舞踊発表	氏家公民館ホール
1月8日(月・祝)	第11回 国際太鼓フェスティバル	第11回を迎える、多様な太鼓の祭典(有料公演)	氏家公民館ホール
1月13日(土)	有料公演	有料公演、氏家公民館連携事業	氏家公民館ホール
2月3日(土)	Ren&倉沢大樹バレンタインコンサート	ケーナのRenとオルガンプレーヤ倉沢大樹によるコンサート(有料公演)	氏家公民館ホール
3月4日(日)	雨情市民オペラ ダイジェスト	市制10周年記念事業で実施した市民オペラのダイジェスト版公演	氏家公民館ホール

関連講座 市民オペラ講座(3月文化事業関連講座)

○瀧澤家住宅公開関連事業

期 日	タイトル	内 容
4月中旬	一般公開と民話語り	民話語り 4月22日(土)アリスの会 4月29日(土)さくら民話の会
5月～6月	レコードジャケット展	ラジオの公開放送に連動した、レコードジャケットの展示 公開放送収録 5月27日
6月	はじめてのお能 in 鐵竹堂	さくら市在住 藤田智子氏と坂井家の協力で、能の写真展示と謡・仕舞・囃子のワークショップを実施
7月～10月	こどもラジオ教室 さくらマイスター2017	夏休み期間、小中学生と共に瀧澤家住宅やさくら市の魅力のインタビューを行い、発表会を行う

※9月以降地域と連携した展示、コンサート、ひな巡りなどの公開事業を計画、調整中。

○国・県等の補助事業

期 日	タイトル(仮題)	内 容	備 考
10月中旬～11月初旬	音楽鑑賞教室	プロの演奏家を各小中学校に派遣	小学校は文化庁補助事業

○文化振興係(平成29年度新規事業及び重点事業)

期 日	タイトル(仮題)	内 容	備 考
平成29年度	指定文化財修理事業	今宮神社本殿大谷石基礎修理	文化財保護のための施設修理に最大1/2補助
平成29年度	瀧澤家住宅事業	駐車場整備工事、整備計画策定	瀧澤家住宅の整備事業

2-2 各種学級・講座関係一覧

区分	事業名	内容
家庭教育	1 家庭教育通信「つくしんぼ」発行	0～3歳児を持つ親全員を対象に家庭教育に関わる情報を提供
	2 親子応援講座	来年度の小学校入学児を持つ保護者を対象に講座を開催
地域力の向上	1 地域と学校を結ぶコーディネーター	学校から相談を受け、学校支援ボランティアを紹介している
人権	1 人権啓発	人権問題を正しく理解するため、発達段階に応じ各種講座に取り入れ、人権教育を推進する
青少年教育	1 青少年の非行・被害防止全国強調月間	広報等による啓発活動 7月
	2 子ども・若者育成支援強調月間	広報等による啓発活動 11月
	3 青少年問題協議会	青少年健全育成を考える必要事項の総合的な調査、審議
	4 青少年センター	青少年健全育成に係る総合的施策の推進
	5 放課後子ども教室推進事業	地域の大人が指導者となり、放課後の子どもの安全な遊び場の提供と子どもの健全育成を目指し、ふれあい学習の推進を図る
	6 子どもの安心・安全	地域ネットワークづくり
	7 家庭の日推進事業	家族のふれあいの機会の提供・啓発
	8 さくらリーダーズクラブ	子ども会への協力や地域社会への奉仕活動
	9 さくらユースボランティア	市内の各種団体・施設等でのボランティア活動
成人式	1 成人式	新成人を中心にした実行委員会を組織し、成人式を開催
運営研修	1 県、地区社会教育振興協議会	社会教育委員、職員の現職研修
	2 県、地区人権教育研修会	人権教育の推進
	3 県、地区芸術祭	音楽祭、演劇祭、邦楽祭、作品展運営
	4 子育て相談事業	家庭教育に関する相談
	5 家庭教育オピニオンリーダー研修会	地域活動のリーダー養成
	6 次世代人材づくり事業	地域で活躍するリーダー育成
	7 女性教育指導者研修	女性の地域リーダー養成
文化財保護	1 文化財保護事業	①指定文化財の調査、保護、保存、啓発 ②寛方・タゴール平和公園維持管理 ③栃木県指定文化財瀧澤家住宅の保護、整備、利活用 ④埋蔵文化財の調査、保護

区分	事業名		内容
自主グループ・団体の育成	1	自主グループの支援	生涯学習・社会教育の振興あるいは青少年健全育成を目的とし、営利を求めない公共性のあるグループ・団体等について幅広く支援する
	2	無形民俗文化財保存 団体育成	野州田植唄保存会
			代々神楽保存会

2-3 生涯学習各種委員会

委員会名		内容
1	社会教育委員及び公民館運営審議会	社会教育関連事業内容の検討・社会教育の調査、研修
2	生涯学習推進協議会	生涯学習推進計画の推進
3	青少年センター運営協議会	青少年センターの事業運営について調査・審議
4	青少年問題協議会	青少年健全育成を考える必要事項の総合的な調査・審議
5	親育ち・子育て支援協議会	教育と福祉の連携による親への総合的な支援について審議
6	学校支援地域実行委員会	地域と学校の連携・協働の審議
7	喜連川小学校支援地域本部	喜連川小学校を支える地域の基盤整備
8	氏家小学校支援地域本部	氏家小学校を支える地域の基盤整備
9	青少年センター少年指導員会	少年指導における青少年健全育成に関する審議
10	文化財保護審議会	文化財の指定等に関する調査・審議
11	図書館協議会	図書館運営に関する調査・審議

3 公民館

(1) 概要

喜連川公民館

所在地 さくら市喜連川4397番地1

電話 028-686-6624 FAX 028-686-5556

敷地面積 3,638.00㎡

建物構造 鉄筋コンクリート造2階建

建築面積 1,273.35㎡

建設年月日 昭和55年3月25日

施設の定員及び使用料

施設名	定員	午前	午後	夜間	全日	暖房料/時間	冷房料/時間	
		9時から 12時まで	13時から 17時まで	18時から 21時30分まで	9時から 21時30分まで	—	—	
1階	第1研修室	人 24	円 300	円 500	円 500	円 1,100	円 150	円 200
	調理実習室	36	500	700	700	1,700	150	200
	団体事務室	60	600	800	800	2,000	200	250
	工芸実習室	50	600	800	800	2,000	200	250
	幼児室	30	500	700	700	1,700	150	200
2階	第2研修室	20	300	500	500	1,100	150	200
	第3研修室	40	500	700	700	1,700	150	200
	第4研修室	40	500	700	700	1,700	150	200
	第5研修室	40	500	700	700	1,700	150	200
	和室	60	600	800	800	2,000	200	250
	視聴覚室	50	600	800	800	2,000	200	250
	ホール	450	5,000	7,500	7,500	18,000	1,000	1,250
ステージのみ	—	1,500	2,500	2,500	6,000	1,000	1,250	

利用案内

利用時間 午前9時～午後9時30分

休館日 年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)、第2・4月曜日、毎月第3日曜日

※これらの規定に関わらず、公民館の管理上、特に必要がある場合は臨時休館となる場合があります。

利用申込 公民館窓口で利用日の3日前までに申請書に記入して利用許可を受けます。

備考

1. 市外居住者が利用する場合の使用料は5割増しとします。(冷暖房費は除く)
2. 入場料を徴収する使用料は、公共的利用にあつては使用料の2割増し、非公共的利用にあつては使用料の5割増しとします。

氏家公民館

所在地 さくら市櫻野1322番地 8

電話 028-682-1611 FAX 028-682-0371

敷地面積 18,094.00㎡

建物構造 鉄筋コンクリート造 2階建一部鉄骨造

建築面積 2,070.09㎡

建設年月日 昭和54年3月15日

施設の定員及び使用料

施設名	定員	午前	午後	夜間	全日	暖房料/時間	冷房料/時間	
		9時から 12時まで	13時から 17時まで	18時から 21時30分まで	9時から 21時30分まで			
ホール	人 800	円 10,000	円 15,000	円 15,000	円 36,000	円 2,000	円 2,500	
ステージのみ	—	3,000	5,000	5,000	12,000	2,000	2,500	
1階	第1研修室	20	300	500	500	1,100	150	200
	第2研修室	30	500	700	700	1,700	150	200
	第3研修室	20	300	500	500	1,100	150	200
	調理室	48	600	800	800	2,000	200	250
	幼児室	30	500	700	700	1,700	150	200
2階	第4研修室	50	600	800	800	2,000	200	250
	第5研修室	30	500	700	700	1,700	150	200
	視聴覚室	30	500	700	700	1,700	150	200
	和室1	30	500	700	700	1,700	150	200
	和室2	30	500	700	700	1,700	150	200
	茶室	10	300	500	500	1,100	100	150
	第6研修室	20	300	500	500	1,100	150	200

利用案内

利用時間 午前9時～午後9時30分

休館日 年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)、第1・3月曜日、毎月第3日曜日

※これらの規定に関わらず、公民館の管理上、特に必要がある場合は臨時休館となる場合があります。

利用申込 公民館窓口で利用日の3日前までに申請書に記入して利用許可を受けます。

備考

1. 市外居住者が利用する場合の使用料は5割増しとします。(冷暖房費は除く)
2. 入場料を徴収する使用料は、公共的利用にあっては使用料の2割増し、非公共的利用にあっては使用料の5割増しとします。

(2) 運営方針

公民館は、市民のための学校として、教育基本法や社会教育法を遵守しつつ、地域学習の拠点となるよう、社会教育学級や公民館講座を実施する。また、学んだ成果を生かし、地域づくりにつなげる活動を支援し、住民の生活文化の向上を図る。

(3) 重点施策

- ・公民館施設の快適整備と施設サービスの向上
- ・自治公民館活動の活性化に向けた支援強化
- ・花いっぱい運動の推進
- ・公民館を拠点とした自主学習の支援と学習成果を生かした地域づくりの支援強化
- ・連続講座を実施することで学習縁による仲間づくりを促進

(4) 社会教育学級の実施

○事業名 エンゼル講座

事業内容 0歳から就学児を持つ親を対象に実施する。

事業目的 乳幼児から幼児期への子育てのあり方（しつけや子育てのポイント等）や、この時期に必要なとされる学習の提供、また、育児の方法を見つけるための相談、そして、修了生が学習成果や経験知識を発揮できるような自主学習活動の向上を図る。

○事業名 菜の花学級

事業内容 概ね60歳以上を対象に市公民館等を利用して開催し、学習機会を提供する。

事業目的 高齢期の学習機会の提供や学習内容の充実を図り、高齢者の心豊かな生きがいづくりの促進と社会参加を促しながら、高齢者自身の意欲と創意工夫を生かした学習活動を行う。



エンゼル講座



菜の花学級開講式



SAKURA KIDS DANCERS



けいおん講座

(5) 地域子どもプロジェクトSSの支援

地域の大人たちがスタッフとなり、子どもとの体験活動を通じて、子どもと大人また大人同士のつながりを深め、地域ぐるみで事業を展開していくことで、地域や家庭の教育力向上を支援している。現在は、熟田小学校区のみで実施。

(6) 公民館講座の実施

地域課題の解決と仲間づくりを目的としてボランティアを活用した連続講座を幅広く実施する。

(7) 公民館ボランティアの育成と活用

ボランティアの育成を図るとともに、ボランティア養成講座修了生の緑のカーテン設置・花植え等の実施による環境学習や、もちつき等の行事で世代間交流を推進する。

(8) 自治公民館活用事業

自治公民館を地域の拠点にすることを目的として、生涯学習や家庭教育に精通した指導者を地域に派遣し、自治会の活性化や地域リーダーの養成を援助する。



もちつき大会



成人式前花植え



松山上組公民館
地域の集い



自治公民館教材映画制作
『どこまでも屋根の下』



自治公民館活用事業
草川公民館への講師派遣

4 図書館

(1) 概要 (平成29年3月31日現在)

氏家図書館

所在地 さくら市櫻野1321番地
電話 028-682-9889
F A X 028-681-0082
建物面積 1,144㎡
建物構造 鉄筋コンクリート造2階建
開館年月日 昭和55年7月1日
所蔵資料数 123,776点

喜連川図書館

所在地 さくら市喜連川4397番地1
電話 028-686-7111
F A X 028-686-7113
建物面積 1,794㎡
建物構造 鉄筋コンクリート造2階建
半地下
開館年月日 平成10年10月1日
所蔵資料数 109,618点



—氏家図書館—



—喜連川図書館—

(2) 利用案内

開館時間 午前9時～午後7時

休館日 氏家：金曜日、年末年始、特別整理期間

喜連川：月曜日、年末年始、特別整理期間

館内利用 館内で所蔵している資料は自由に閲覧することができる。

館外利用 市内に居住、勤務、在学している方、近隣市町（矢板市、塩谷町、大田原市、那須烏山市、那珂川町に在住）、または県央5市4町（宇都宮市、鹿沼市、日光市、真岡市、下野市、上三川町・芳賀町・壬生町・高根沢町に在住）の方は利用できる。

利用点数 一人の利用点数は、図書・雑誌必要数、課題図書2冊、電子書籍3点、AV5点。
貸出期間は2週間。

電子図書館 登録対象者は、さくら市に在住・在勤・在学の方。

電子書籍の貸出には、電子図書館用暗証番号の登録が必要。

広域利用 市図書館に無い資料（図書・CDのみ）は、リクエスト申込みをすることにより、他の図書館から取り寄せて利用できる。

図書館ホームページ <http://www.library.sakura.tochigi.jp>

さくら市電子図書館ホームページ <https://www.d-library.jp/sakura/>

Eメールアドレス 氏 家：ujiie-lib@vesta.ocn.ne.jp

喜連川：kitsuregawa-lib@vesta.ocn.ne.jp

指定管理者制度 平成27年4月1日にサービス向上と経費の節減を目的として指定管理者制度を導入。民間ノウハウをいかした図書館運営を行う。

指定管理者 大高商事・図書館流通センター・藤井産業 共同事業体

指定管理期間 平成27年4月1日～平成32年3月31日まで

(3) 運営方針

生涯学習の情報発信の基地として、また、市民の憩いの空間として、さらに市民参加による協働型図書館を目指す。そのために、①ニーズに基づいた資料の収集、②ゆとりのある豊かな人生を送るための学習の場を提供する各種講座の開催、③図書館を利用して自主・ボランティア活動を行っている団体への側面からの支援の3点を柱に、市民の生活に密着した市民のための図書館運営に努める。

(4) 重点施策

ア 図書館資料の整備充実

一般図書、児童図書、郷土資料、参考資料及び視聴覚資料等を計画的かつ網羅的に収集し保存する。また、氏家・喜連川図書館の蔵書構成を特色あるものにするために、収集ジャンルを分担して資料の整備充実に努める。

	主な収集分野
氏家図書館	総記類・自然科学・文化・芸術・芸能・環境・エコロジー・子育て・大活字図書資料・児童書の複本の整備・郷土資料
喜連川図書館	生活・福祉・介護・高齢者・健康・医療・教育・趣味・スポーツ・実用書・AV資料

イ 図書館施設の環境整備

館内外の秩序維持、環境整備を含め明るく開放的な図書館が維持されるよう配慮する。

ウ 利用者の拡大促進

カウンター業務を重視し、利用者への情報提供サービスの充実強化に努める。

インターネットによる情報提供のシステム整備及びホームページや広報等による広報活動を通して利用者の増加に努める。また、魅力ある講座・イベントを開催して利用促進を図る。

エ 子ども読書活動推進計画の推進

すべての子どもが、あらゆる機会と場所において、自主的に読書活動を行うことができる環境づくりをするため、平成18年度に策定した「さくら市子ども読書活動推進計画」を推進する。また計画に基づき、学校等関連施設との連携を図る。

オ 自主活動グループの育成強化

図書館を拠点として自主活動を行っているグループのスムーズな運営を側面から支援することにより、グループの育成強化に努める。

カ 図書館協議会の充実

社会環境の多様化する中、市民ニーズに対応した図書館運営に資するため、最新情報の収集と調査研究を実施する。

キ 図書館職員の資質の向上

図書館職員の資質の向上のため内外で開催される研修会、研究会、勉強会への積極的な参加に努め、業務に対する意識の改革と意欲の高揚を図る。

ク 電子書籍の充実

図書館に来るのが難しい「非来館者」向けサービスとして、電子図書館サービスを導入し、来館が困難な方への図書館利用や機会の拡大を目指す。また、さくら市独自の資料として、さくら市に著作権のある資料の電子書籍化を行い、市内外へ広く発信する。

(5) 平成28年度の利用状況

	開館日数	図書館利用者数	貸出利用者数	学習室利用者数	資料貸出数	資料貸出数の内訳			
						一般書	児童書	雑誌	A V
氏家図書館	305日	96,691人	48,531人	8,837人	217,604点	75,716冊	108,016冊	7,899冊	25,973点
喜連川図書館	309日	67,435人	23,200人	2,546人	107,292点	45,810冊	33,385冊	6,816冊	21,281点
合計	—	164,126人	71,731人	11,383人	324,896点	121,526冊	141,401冊	14,715冊	47,254点

※一般書は、参考、郷土、相互等を含む。

○平成28年度の利用登録者状況

	男性	女性	団体等	計
氏家図書館	5,825人	8,983人	248人	15,056人
喜連川図書館	2,763人	3,614人	67人	6,444人
合計	8,588人	12,597人	315人	21,500人

(6) 平成29年度の事業計画

○定例行事

定例行事	開催館	開催日	講師
おはなし会	氏家	毎週土曜日 午前11時～	アリスの会
	喜連川	毎月第1・3・5土曜日 午前11時～	バーバママ
プチおはなし会	氏家	毎月第3木曜日 午前11時～	アリスの会
わらべうたの会	氏家	毎月第3木曜日 午前11時～	アリスの会
紙しばい	氏家	毎月第1土曜日 午後2時～	小原 勇氏
	喜連川	毎月第2・4土曜日 午前11時～	亀田 格男氏

○季節行事

開催月	図書館講座	開催館	講師
4月	図書館ツアー 4月30日(日) 午後2時～	両館	図書館職員
5月	図書館寄席 5月14日(日) 午後1時30分～	喜連川	真岡落語研究会
	民話の会 (11月にも開催) 5月11日(木) 午後1時30分～	喜連川	さくら民話の会
6月	文芸歴史講座 (8回連続講座) 6月10日(土)、7月5日(水) 8月9日(水)、9月6日(水) 10月5日(木)、10月21日(土) 11月8日(水)、12月5日(火) 午前10時～正午 (現地研修有)	氏家	新井 正義氏
7月	ホンダ段ボールクラフト 7月17日(月・祝)	氏家	本田技研工業
	図書館まつり 7月23日(日) 午前9時～	喜連川	—
	おはなし会夏休みスペシャル	両館	おはなしボランティア
8月	1日子ども図書館員	両館	図書館職員
	民話の会 (怪談語り)	喜連川	さくら民話の会
10月	リサイクル市	両館	
	工作会	両館	図書館職員
11月	図書館ツアー	氏家	図書館職員
12月	朗読会	氏家	青木ひろこ氏 たまゆらの会
	おはなし会クリスマススペシャル	両館	おはなしボランティア
1月	おはなしボランティア養成講座 (全4回)	氏家	未定
	市民ギャラリー	両館	
2月	図書館利用アンケート	両館	
3月	工作会	両館	図書館職員
	おはなし会春休みスペシャル	氏家	おはなしボランティア

○ブックスタート事業

赤ちゃんと保護者が絵本を通して「楽しいひととき」を持つことを応援する運動。10ヶ月児健診の受診時に、絵本2冊の無料配布及び絵本の紹介を行う。

配布絵本 「だるまさんが」「ぴょーん」

○あかちゃんタイム

第1、3木曜の午前10時から正午まで実施。小さいお子さんが泣き声を上げたりしてしまっても「他の利用者に寛容の気持ちで見守っていただくように」ご協力をお願いする時間を設け、小さいお子さんがいる親子が気軽に図書館に来館できる環境を提供している。

○電子図書館サービス

平成28年1月12日、図書館の非来館型サービスとして、電子図書館サービスを導入。

実用書から小説、読み聞かせ機能付きの動く絵本や、画像が浮き出る3D図鑑など、幅広い収集を行い、電子データ書籍の提供を行う。

○オリジナルキャラクターによる図書館PR活動

平成28年10月に図書館オリジナルキャラクター投票を行い、502票中169票を獲得した「さくちゃん」に決定した。イベントや図書館だより等で図書館のPR活動を行っていく。



図書館キャラクター「さくちゃん」

(7) ボランティア団体の支援・育成

図書館を中心に活動するボランティアの支援・育成を行っている。

①アリスの会（会員 20名）

本会は、本の読み聞かせに興味を持つ市民を中心に、平成6年12月に結成された。

毎週土曜日に幼児から小学校低学年までを対象に氏家図書館を拠点として、読み聞かせの活動を行っている。現在はさらに、活動の幅を広げ、語りやわらべうたなどの口承文化の継承と普及に努力している。平成10年からは、郷土の民話を語る会を開催すると同時に、民話の掘り起こしもして継承に努力している。また、自主的に講師を招き研修会を実施し、会員の資質の向上に努力している。

活動内容	開催日	開催時間
おはなし会	毎週土曜日	午前11時～11時30分
プチおはなし会・わらべうたの会	毎月第3木曜日	午前11時～11時30分

②バーバママ（会員 8名）

本会は、本の読み聞かせに興味を持つ市民を中心に平成10年10月に結成された。

毎月第1・第3・第5土曜日に幼児から小学生までを対象に、喜連川図書館を拠点として読み聞かせの活動を行っている。年に2回「おはなし会スペシャル」を実施し、又学校からの要望で「出張おはなし会」に出向き、子どもたちに読書の楽しさを伝える活動を行っている。

活動内容	開催日	開催時間
おはなし会	毎月第1・3・5土曜日	午前11時～11時30分

○自主活動グループの支援

図書館では、市民の方々がゆとりのある人生をおくるための生涯学習活動の場を提供しており、自主活動グループのスムーズな運営を側面から支援している。また、各団体と連携をとりながら、図書館行事への参加協力依頼を行っている。

紙しばいの会（かきくけこ紙しばいの会、亀ちゃんの紙しばい）、さくら民話の会
読書グループ（しぐれの会、すみれの会）、かみなり社句会、さくら文学・歴史散歩の会、うじいえ川柳会

(8) 図書館資料表

(平成29年3月31日現在)

分類	館名	一般書	児童書	参考図書	郷土資料	合計	分類	館名	合計
総記	氏家	2,363	505	655	1,181	4,704	C D	氏家	6,478
	喜連川	2,193	348	244	446	3,231		喜連川	3,790
	合計	4,556	853	899	1,627	7,935		合計	10,268
哲学	氏家	1,926	296	62	20	2,304	VHS	氏家	357
	喜連川	2,340	168	70	19	2,597		喜連川	1,893
	合計	4,266	464	132	39	4,901		合計	2,250
歴史	氏家	5,345	1,599	502	1,106	8,552	DVD	氏家	1,560
	喜連川	5,253	956	376	713	7,298		喜連川	1,483
	合計	10,598	2,555	878	1,819	15,850		合計	3,043
社会科学	氏家	7,569	1,994	510	2,045	12,118	他AV (LD等)	氏家	0
	喜連川	8,411	1,114	232	667	10,424		喜連川	121
	合計	15,980	3,108	742	2,712	22,542		合計	121
自然科学	氏家	4,454	4,242	251	129	9,076	AV 合計	氏家	8,395
	喜連川	4,423	2,260	258	78	7,019		喜連川	7,287
	合計	8,877	6,502	509	207	16,095		合計	15,682
技術学	氏家	6,768	1,399	94	306	8,567	電子書籍	両館	4,221
	喜連川	7,716	795	111	80	8,702			
	合計	14,484	2,194	205	386	17,269		合計	4,221
産業	氏家	2,035	872	184	347	3,438	雑誌 合計	氏家	2,438
	喜連川	2,955	545	94	74	3,668		喜連川	2,609
	合計	4,990	1,417	278	421	7,106		合計	5,047
芸術	氏家	6,557	1,589	596	387	9,129	総合計	氏家	123,776
	喜連川	5,479	1,063	161	191	6,894		喜連川	109,618
	合計	12,036	2,652	757	578	16,023		合計	237,615
言語	氏家	923	461	244	10	1,638			
	喜連川	1,323	334	277	18	1,952			
	合計	2,246	795	521	28	3,590			
文学	氏家	12,614	10,962	131	291	23,998			
	喜連川	10,893	8,405	105	116	19,519			
	合計	23,507	19,367	236	407	43,517			
F (現代小説)	氏家	13,633	10	0	0	13,643			
	喜連川	18,521	0	0	0	18,521			
	合計	32,154	10	0	0	32,164			
E (絵本)	氏家	5	15,057	0	0	15,062			
	喜連川	0	9,284	0	0	9,284			
	合計	5	24,341	0	0	24,346			
P (紙芝居)	氏家	0	714	0	0	714			
	喜連川	0	613	0	0	613			
	合計	0	1,327	0	0	1,327			
図書 合計	氏家	64,192	39,700	3,229	5,822	112,943			
	喜連川	69,507	25,885	1,928	2,402	99,722			
	合計	133,699	65,585	5,157	8,224	212,665			

5 さくら市ミュージアムー荒井寛方記念館ー

(1) 概要

所在地 さくら市氏家1297番地

電話 028-682-7123

F A X 028-682-7854

敷地面積 9,836.05 m²

建築面積 2,886.54 m²

延床面積 2,885.62 m²



主要各室

①正面玄関 ②受付 ③・⑤展示ホール

④荒井寛方室 ⑥鋸展示室 ⑦・⑮・⑰休憩室※⑰(館外)

⑧企画展示室 ⑨野口雨情コーナー

⑩さくら市の自然・歴史・文化展示室

⑪市民ギャラリー ⑫体験学習室 ⑬講座室 ⑭学芸員室

⑯事務室

⑱木造不動明王坐像収納庫 (館外)

他 一般収蔵庫、特別収蔵庫、展示倉庫、燻蒸室など

※④⑥⑧⑨⑩は主要展示室

沿革

1988年(昭和63年) 氏家町制100周年事業として計画

1993年(平成5年) 5月 「ミュージアム氏家」として開館

1995年(平成7年) 民家広場(民家・長屋門・板倉)を整備。

2005年(平成17年) 3月 市町村合併により「さくら市」誕生、館の名称を
さくら市ミュージアムー荒井寛方記念館ーと改める

2011年(平成23年) 3月 東日本大震災により被災

2013年(平成25年) 6月 落雷により民家焼失。

2014年(平成26年) 6月 新館(収蔵庫・鋸展示室)
を新築。

2015年(平成27年) 3月 本館リニューアル。
木造不動明王坐像収納庫
新築。



(2) 運営方針

先人が培ってきた郷土の歴史・文化の土壌を更に発展させ、生涯学習の街づくりに寄与するために地域の歴史・文化に関する資料を収集・保存する。また、これらの貴重な資料を後世に伝えるとともに、人々が交流し、新しい文化活動の拠点としての機能を発揮する。さらに、鬼怒川河川公園、勝山城跡、歴史・文化の森の整備により、新たな文化ゾーンの核となる活動を展開していく。

(3) 重点施策

- ア 郷土の歴史・文化の調査・研究に努め、その成果と展示活動・普及活動を通じて市の文化向上に寄与する。
- イ 企画展等の優れた学術・芸術に接する機会の拡充に努め、芸術文化に対する来館者の関心と理解の深化を図る。
- ウ 文化交流事業の充実によって国内外に情報発信を行う。
- エ 施設、整備、資料の充実と整備。

(4) 特色

さくら市ミュージアム「荒井寛方記念館」は通常4つの展示構成からなる。このほか、企画展、巡回展等を開催している。また展示活動とは別にギャラリーコンサートや講演会、講座、体験学習、見学会等のほか小中学生を対象とした総合的な学習に対する支援活動を行っている。また芸術文化振興のため、市民等の美術工芸作品などの展示スペースとして市民ギャラリーを新設した。

(5) 利用案内

開館時間 午前9時～午後5時

休館日 月曜日、第3火曜日、国民の祝日の翌日（土日は除く）、年末年始（12月29日～1月3日）、その他臨時休館日（燻蒸期間、展示替え期間）

観覧料 一般300(210)円、高校・大学生200(140)円、小・中学生100(70)円

※（ ）内は20名以上の団体料金、市内小・中学生は無料

(6) 展示内容

荒井寛方室

さくら市出身の日本画家で明治から昭和にかけて日本美術院で活躍した荒井寛方の足跡を作品・スケッチ・書簡等で紹介する記念室。



野口雨情コーナー

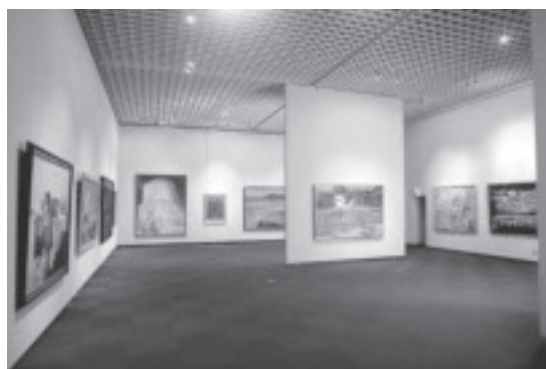
日本三大童謡詩人の一人、野口雨情の最初の妻ヒロは、さくら市喜連川出身です。雨情は、さくら市を何度も訪れ、多くの作品を残しています。その雨情の原稿や書、楽譜など全国有数のコレクションから貴重な品々を展示。



企画展示室

現代作家の日本画・洋画・版画・彫刻の館蔵コレクションを展示。米陀寛、渡辺安友、荒井孝、松本哲男、森田茂、さくら市在住の杉山吉伸など主に栃木県にゆかりのある作家の紹介。

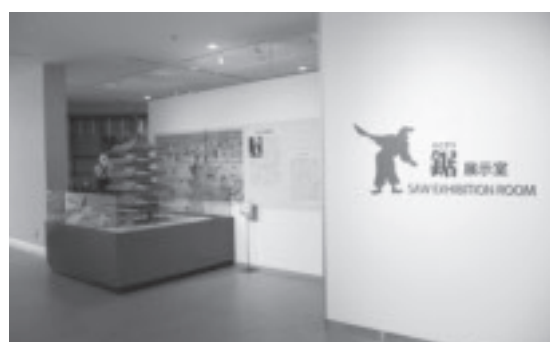
また、館独自の歴史・美術・民俗・自然等に関する企画展を開催しています。



自然・歴史・文化展示室

鬼怒川のれき河原の自然、喜連川地区を中心とする里地・里山の自然、そして、古代・東山道、中世・奥大道、近世・奥州道中など地域を結ぶ時代の道を軸とした歴史、喜連川御城下の由緒と伝統、この地で生まれ、継承された文化を紹介しています。

「渡辺清絵日記の世界」「喜連川神社天王祭」の映像コーナー、「さくら市の自然」「渡辺清絵日記」「荒井寛方・現代作家作品等の美術品」、「大正、昭和時代の写真」などの検索コーナー、さくら市の自然の映像展示を設け、画像・映像展示も充実させました。

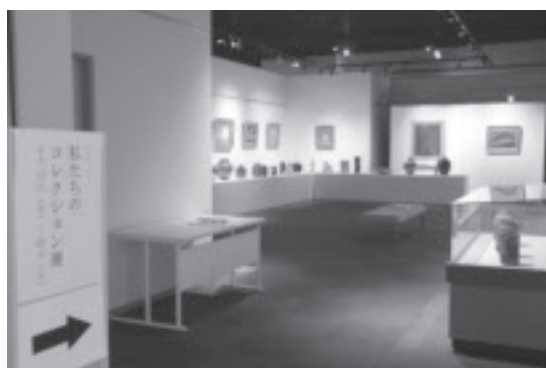


鋸展示室

旧氏家町出身の鋸研究家・吉川金次コレクションと関連資料約300点により、鋸の発達の歴史と多種多様な種類の鋸、及び日本の木工職人を代表する大工の道具を展示しています。また鋸鍛冶の現場を実物大で展示するなど、見どころは多い。

市民ギャラリー

市民ギャラリーは市民等をはじめ、美術愛好家・絵画サークルなどの方々が、芸術・文化の成果を気軽に発表・鑑賞できるとともに、サロンの雰囲気、より身近に芸術作品を親しめる場となっています。主に絵画・彫刻・書・写真・陶芸・立体造詣・現代美術等の展示を目的として利用できます。



平成28年度事業実績

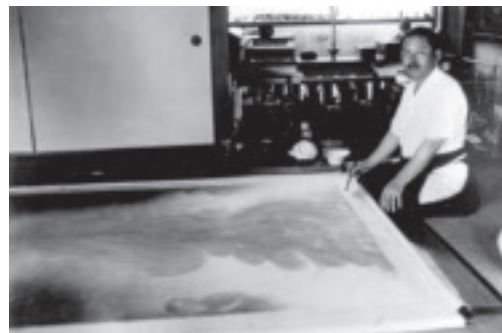
《企画展》

荒井寛方名品展 —郷土に伝わる名作—



3月19日(土)～5月8日(日)

開館以来収集してきた寛方の名品を中心に展示。代表作である「仏誕」を初めて下図とともに同時公開。その他スケッチや関連資料などで、寛方の人柄と画業を紹介。



さくら市ミュージアム収蔵作品展 旅する絵画



5月14日(土)～6月30日(木)

当館の収蔵絵画作品から、旅をテーマに展示をした展覧会。昨年度、新収蔵となった8点の作品を初公開し、故郷の山々や海外の都、作家の心をとらえた風景画を展示。



大橋皓也「東平安名崎」



清水由朗「貿易風」

栃木県立博物館連携事業・共催展

DINOSAUR

恐竜ワールド～化石は語る～



7月16日(土)～9月11日(日)

恐竜とその時代を生きた古生物に焦点を当て、約100点にのぼる化石標本を紹介した県立博物館との共催展。全長9mのアロサウルスの復元模型など大型模型も数多く展示。



ステゴサウルスの全身骨格



アロサウルスの全身復元

第76回 国際写真サロン

主催：朝日新聞社・全日本写真連盟



9月16日(金)～9月25日(日)

「国際写真サロン」の巡回展。世界の写真愛好家を対象とした写真の公募展。入選・入賞した海外作品80点、国内作品50点の計130点を展示。



春の院展 栃木展



10月1日(土)～11月6日(日)

春に開催される日本美術院主催「春の院展」の巡回展。松尾敏男理事長はじめ同人作家に加え、受賞作品や本県の作家作品等88点を展示。



那波多目功一「月明かり」



窪井裕美「鳩の帰還」

幕末・明治・大正 しおやの医療史



11月11日(金)～12月18日(日)

氏家町史、喜連川町史編さんの成果と医療史研究会の研究とともに、さくら市や周辺地域の医学、医療の発展を紹介。



第14回 こども絵画展



12月23日(金)～1月15日(日)

毎年恒例の「こども絵画展」。さくら市内のこどもたちの絵画作品344点を展示。日印交流として、インドの子供たちの絵画24点も特別展示。



平山郁夫展

ーシルクロードへの旅ー



1月21日(土)～3月5日(日)

さくら市における平山郁夫氏逝去後初の大回顧展。平山氏が生涯テーマとして描き続けたシルクロード関連の作品、さくら市や荒井寛方との関わりを紹介。



第20回記念 栃木日展作家展



3月11日(土)～5月7日(日)

毎年恒例、通算20回目の栃木日展作家展。日本画・洋画・工芸・書など栃木県芸術の現況を展示。



《入館者数》

企 画 展 名	入館者数 (人)
荒井寛方名品展－郷土に伝わる名作－	2,389 (2,937)
さくら市ミュージアム収蔵作品展 旅する絵画	1,990
栃木県立博物館連携事業・共催展 DINOSAUR 恐竜ワールド～化石は語る～	14,753
第76回 「国際写真サロン」	946
春の院展 栃木展	4,126
幕末・明治・大正 しおやの医療史	2,501
第14回 こども絵画展	2,109
平山郁夫展－シルクロードへの旅－	15,101
第20回記念 栃木日展作家展	1,129
合 計	45,044

《記念行事》

参加人数(人)

4月29日	開館記念まつり	678
10月1日	春の院展 栃木展 開幕記念式典	150
12月25日	第14回 こども絵画展表彰式	224
1月21日	平山郁夫展－シルクロードへの旅－ 開幕式	260
3月11日	第20回記念 栃木日展作家展 オープニングセレモニー	80



荒井寛方セミナー
「スケッチと本画の見方」



大嶽浩良氏 記念講演会
「しおやの地から“醫”を探る」



平山郁夫展
－シルクロードへの旅－開幕式

《講演会・講座・ギャラリートーク》

参加人数(人)

4月9日	荒井寛方セミナー「寛方が見た世界第2回目」	当館学芸員	15
4月16日	荒井寛方名品展 作品解説会	当館学芸員	10
4月23日	荒井寛方セミナー 「スケッチと本画の見方 第3回目」	当館学芸員	11
4月29日	記念講演会「日本画の色彩と魅力」	宮北千織氏	110
7月31日	「恐竜ワールド」展示解説会	河野重範氏	100
10月1日	春の院展栃木展 ギャラリートーク&サイン会	那波多日功一氏、宮廻正明氏、 宮北千織氏	150
10月8日	春の院展 栃木展 ギャラリートーク	杉山寒月氏	26
10月30日	春の院展 栃木展 ギャラリートーク	荒井孝氏	69
11月12日	記念講演会「近代医学への道」	酒井シヅ氏	30
11月19日	連続講座 「しおやの地から“醫”を探る」 第1回目	大嶽浩良氏	53

11月27日	連続講座 「しおやの地から“醫”を探る」 第2回目	岡一雄氏、戸村光宏氏	110
12月4日	連続講座 「しおやの地から“醫”を探る」 第3回目	岡一雄氏、中野英男氏	82
1月21日	平山郁夫展－シルクロードへの旅－作品解説会	平山東子氏	260
1月28日	平山郁夫展－シルクロードへの旅－特別鑑賞会	宮北千織氏	280
2月19日	平山郁夫展－シルクロードへの旅－特別鑑賞会	荒井孝氏	330
3月11日	ギャラリートーク〈日本画・洋画〉	栃木・日展作家の会	80
3月18日	ギャラリートーク〈書〉	栃木・日展作家の会	15
3月25日	ギャラリートーク〈工芸美術〉	栃木・日展作家の会	20
第1・3日曜日	うのはな手まりの会		456
第1・3火曜日	さくら民話の会		43

《体験学習・ワークショップ》

参加人数(人)

7月31日	化石のレプリカを作ろう！①	河野重範氏	31
8月4日	恐竜のスケッチをしよう 第1回目	当館学芸員	26
8月6日	化石探し体験をしよう 第1回目	当館学芸員	55
8月11日	恐竜のスケッチをしよう 第2回目	当館学芸員	30
8月13日	化石探し体験をしよう 第2回目	当館学芸員	67
8月20日	恐竜のスケッチをしよう 第3回目	当館学芸員	16
8月21日	化石探し体験をしよう 第3回目	当館学芸員	52
8月27日	化石探し体験をしよう 第4回目	当館学芸員	58
9月11日	化石のレプリカを作ろう！②	河野重範氏	28
10月22日	那波多目功一先生に学ぶ絵画教室	那波多目功一氏	25
12月23日	しめ飾り教室	高野沢善一氏	17



恐竜のスケッチをしよう



ギャラリーコンサート
「ハイクラッド・コンサート」



ギャラリーコンサート
「親子で楽しむコンサート」

《ギャラリーコンサート》

参加人数(人)

5月15日	ギャラリーコンサート 「フルーツとハーブの音色に誘われて」	栗田智水氏、高久美穂氏	200
11月13日	ギャラリーコンサート「ハイクラッド・コンサート」	ハイクラッド	126
12月11日	ギャラリーコンサート「クリスマスコンサート」	渡邊洋邦氏、渡邊弘子氏、 渡邊多佳子氏	163
1月15日	ギャラリーコンサート「親子で楽しむコンサート」	鈴木千枝子氏、 矢嶋暁子氏、稲見郁恵氏	263

《市民ギャラリー》

観覧者数(人)

5月20日～5月29日	複製品「紅白梅図屏風」と「色絵藤花文茶壺」展示会	美と健康の集いさくらの会実行委員会	229
7月16日～7月21日	私たちのコレクション展 part 3	桑島俊雄氏他3名	128
9月17日～9月19日	第7回 鬼怒支部写真展	ニッコールクラブ鬼怒支部	294
11月18日～11月20日	第27回 さくら市書道連盟展	さくら市書道連盟	185
11月25日～11月27日	第24回 氏家美術家協会展	氏家美術家協会	117

《うじいえ自然に親しむ会との共催事業》

参加人数(人)

4月17日	シナダレスズメガヤ抜き取りとカワラノギク種まき(共)	うじいえ自然に親しむ会会員	3
4月29日	ヤマブキソウの見学会	田代俊夫氏	40
5月8日	シルビアシジミ観察会	うじいえ自然に親しむ会会員	40
5月8日	記念講演会・講師を囲む会	今井友樹氏	70
6月5日	シナダレスズメガヤ抜き取り作業	うじいえ自然に親しむ会会員	23
6月10日	オオキンケイギク抜き取り作業(協)	うじいえ自然に親しむ会会員	83
7月9日	シナダレスズメガヤ抜き取り作業	うじいえ自然に親しむ会会員	90
7月24日	夏休みの昆虫観察会と標本作り(協)	うじいえ自然に親しむ会会員	44
7月30日	植物標本作り(協)	うじいえ自然に親しむ会会員	46
8月7日	セミの羽化観察会	阿久津隆氏	60
9月1日	植物観察会・群馬県桐生市	うじいえ自然に親しむ会会員	25
11月20日	探鳥会	佐藤康夫氏	46
11月27日	柚子ねり教室	加藤真紀子氏	25
1月15日	探鳥会	佐藤康夫氏	31
2月12日	冬の植物観察会(冬芽と葉痕)	田代俊夫氏	21
2月25日	探鳥会	佐藤康夫氏	50
3月19日	探鳥会	佐藤康夫氏	51



セミの羽化観察会



柚子ねり教室



冬の植物観察会(冬芽と葉痕)

《寛方・タゴール会との共催事業》

参加人数(人)

10月20日	公開講座「タゴールと荒井寛方の出会い100年」	ショット氏・我妻綱子氏	37
--------	-------------------------	-------------	----



《歴史文化研究会との共催事業》

参加人数(人)

9月25日	講座「大谷石と建築」	岡田義治氏	45
1月14日	講演会「西と鶏の考古学」	賀来孝代氏	19
毎月第1土曜	渡辺清絵日記を読む会	歴史文化研究会会員	75
毎月第1土曜	アジアの世界文化遺産を学ぶ	大木博志氏	134



岡田義治氏
講座「大谷石と建築」



賀来孝代氏講演会「西と鶏の考古学」

活動団体（さくら市ミュージアムと連携して活動する団体）

団体名	会員数	活動内容
さくら市ミュージアム友の会	192名	研修、会報の発行、ミュージアム主催事業への協力
寛方・タゴール会	38名	日印文化交流に関する事業の主催及び協力
うのはな手まりの会	27名	第1・3日曜日の研究会開催、年1回の作品展
氏家・喜連川歴史文化研究会	74名	講座・見学会の開催、民俗調査等の実施、会報・会誌の発行
うじいえ自然に親しむ会	199名	身近な自然に親しみながら観察会、学習会などを開催
さくら民話の会	10名	第1・3火曜日 昔語り地域の民話の学習会、むかし語りや読み語りの活動



さくら市ミュージアム友の会
ミュージアム前庭の花植え



うのはな手まりの会 制作実演

第14回「さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－こども絵画展」



表彰式風景

「さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－こども絵画展」は、絵画を通して身の回りの風景や事象に関心を持ち、また、その感動を描く楽しさを味わうことを目的として、平成15年度に始まりました。今回は14回目ということもあり、さくら市の園児、小中学生から、充実した作品344点が応募されました。



審査会風景

展覧会期間 平成28年12月23日(金)～平成29年1月15日(日)
審査員 森 實氏 (元栃木県義務教育指導主事美術担当)
 平川晋吾氏 (宇都宮大学名誉教授、工芸家)
 杉山吉伸氏 (洋画家、日展会員、光風会理事)
 玉村好明氏 (さくら市校長会代表)
 岡田 正氏 (さくら市教育委員会教育長)
 加藤誠一氏 (さくら市ミュージアム
 －荒井寛方記念館－館長)

表彰式 平成28年12月25日(日) 午前10時～
 氏家公民館 ホール

《入賞者一覧》

(敬称略)

賞名	部門	氏名	学校名	学年
荒井寛方賞	保育園・幼稚園の部	渡邊 浩平	ふれあい保育園	年長
	小学校下学年の部	高瀬 昇大	押上小学校	3年
	小学校上学年の部	黒川 莉奈	南小学校	6年
	中学校の部	高瀬 里菜	氏家中学校	2年
さくら市長賞	保育園・幼稚園の部	高橋 暁	氏家幼稚園	年少
	小学校下学年の部	佐々木愛奈	氏家小学校	1年
	小学校上学年の部	尾関 仁美	南小学校	6年
	中学校の部	小峰菜々美	氏家中学校	3年

さくら市議会議長賞	保育園・幼稚園の部	薄井 彪雅	ふれあい保育園	年少
	小学校下学年の部	井上 紗良	押上小学校	2年
	小学校上学年の部	関 ひかり	熟田小学校	6年
	中学校の部	岡田 来珠	氏家中学校	3年
さくら市教育長賞	保育園・幼稚園の部	青山 心	ふれあい保育園	年長
	小学校下学年の部	佐藤 結麻	熟田小学校	2年
	小学校上学年の部	高久 蓮央	氏家小学校	4年
	中学校の部	谷田健太郎	喜連川中学校	3年
さくら市ミュージアム館長賞	保育園・幼稚園の部	マッシー悠仁	あおぞら保育園	年長
	小学校下学年の部	小野 綾子	上松山小学校	1年
	小学校上学年の部	杉之内 蛍	南小学校	6年
	中学校の部	清水 玲音	喜連川中学校	1年
杉山吉伸賞	保育園・幼稚園の部	原田かんな	ふれあい保育園	年少
	小学校下学年の部	高野 伶恩	氏家小学校	3年
	小学校上学年の部	青木 梨奈	喜連川小学校	6年
	中学校の部	河端 彩伽	氏家中学校	2年
下野新聞社賞	保育園・幼稚園の部	高橋 奏輔	ふれあい保育園	年長
	小学校下学年の部	高橋 海道	南小学校	2年
	小学校上学年の部	黒田 愛奈	南小学校	6年
	中学校の部	岩淵 由季	氏家中学校	2年
NHK宇都宮放送局長賞	保育園・幼稚園の部	大島 舞結	ふれあい保育園	年長
	小学校下学年の部	藤池 穂岳	氏家小学校	1年
	小学校上学年の部	名倉慧光流	氏家小学校	5年
	中学校の部	村山 彩夏	氏家中学校	3年
栃木放送賞	保育園・幼稚園の部	濱本もも花	第二氏家さくら保育園	年長
	小学校下学年の部	池田 央	押上小学校	2年
	小学校上学年の部	横山 琉生	喜連川小学校	5年
	中学校の部	関 晴薫	氏家中学校	3年
エフエム栃木賞	保育園・幼稚園の部	那須 旭牙	たいよう保育園	年中
	小学校下学年の部	相田 龍馬	氏家小学校	3年
	小学校上学年の部	秋本 果音	氏家小学校	5年
	中学校の部	寺牛 爽	氏家中学校	2年
とちぎテレビ賞	保育園・幼稚園の部	黒澤 楓彩	わくわく保育園	年中
	小学校下学年の部	鈴木 翔大	喜連川小学校	2年
	小学校上学年の部	小林 彩心	押上小学校	5年
	中学校の部	板橋 梨音	氏家中学校	3年
氏家ロータリークラブ会長賞	保育園・幼稚園の部	藤田 明花	ふれあい保育園	年少
	小学校下学年の部	大金 龍生	氏家小学校	1年
	小学校上学年の部	倉井 颯士	喜連川小学校	5年
	中学校の部	河又 未羽	氏家中学校	1年

氏家ライオンズクラブ 会長賞	保育園・幼稚園の部	関谷 頼樹	氏家幼稚園	年長
	小学校下学年の部	本多 心絆	氏家小学校	2年
	小学校上学年の部	長井 亮磨	氏家小学校	6年
	中学校の部	鈴木ひかり	氏家中学校	2年
寛方・タゴール会長賞	保育園・幼稚園の部	薄井李緒捺	氏家幼稚園	年長
	小学校下学年の部	吉成 七音	氏家小学校	1年
	小学校上学年の部	瀧澤 心佑	熟田小学校	6年
	中学校の部	高橋 奈々	喜連川中学校	2年
氏家商工会会長賞	保育園・幼稚園の部	藤門 大雅	氏家幼稚園	年中
	小学校下学年の部	風間 快斗	上松山小学校	3年
	小学校上学年の部	杉山 歩未	氏家小学校	4年
	中学校の部	齋藤 匠	氏家中学校	3年
喜連川商工会会長賞	保育園・幼稚園の部	山田 愛梨	第二氏家さくら保育園	年長
	小学校下学年の部	津村 昂希	喜連川小学校	2年
	小学校上学年の部	西野 匠斗	上松山小学校	5年
	中学校の部	小島 由菜	喜連川中学校	1年
氏家観光協会会長賞	保育園・幼稚園の部	檜山未知琉	氏家保育園	年中
	小学校下学年の部	本木 咲百	喜連川小学校	2年
	小学校上学年の部	平野 稜馬	喜連川小学校	6年
	中学校の部	伊澤 美月	氏家中学校	1年
喜連川観光協会会長賞	保育園・幼稚園の部	竹内 紗菜	第二氏家さくら保育園	年長
	小学校下学年の部	大森 庵	南小学校	2年
	小学校上学年の部	高橋 芽生	押上小学校	4年
	中学校の部	小嶋 杏尉	喜連川中学校	3年
さくら市文化芸術協会 会長賞	保育園・幼稚園の部	小林 梨奈	あおぞら保育園	年中
	小学校下学年の部	鈴木 瀬七	熟田小学校	1年
	小学校上学年の部	柄村 彩瑠	熟田小学校	5年
	中学校の部	鈴木 萌々	氏家中学校	2年

平成29年度 企画展

第20回記念 栃木日展作家展	3月11日(土)～5月7日(日) 日展で活躍する栃木県ゆかりの作家による展覧会です。日本画・洋画・工芸美術・書の各部門にわたる約50点の力作をご覧ください。
収蔵作品展 山をたずねて	5月13日(土)～6月30日(金) 「山」をテーマとした絵画作品を当館の収蔵品を中心に展示します。
地域移動博物館 たんけん！はっけん！昆虫大集合	7月15日(土)～9月10日(日) 栃木県立博物館連携事業として、世界の珍しい昆虫や日本の昆虫の標本や写真を展示します。
第77回「国際写真サロン」展 全日本写真展2016	9月16日(土)～10月9日(月) 毎年恒例、世界的な公募写真展「国際写真サロン」の巡回展です。世界トップレベルの写真技術をご覧ください。 「全日本写真展2016」も同時開催。
第72回春の院展 栃木展	10月14日(土)～11月19日(日) 春に開催される日本美術院主催の「春の院展」の巡回展です。同人作品をはじめ、受賞作品、栃木県にゆかりの作家の作品、合計約90点を展示します。
さくら市の歴史と文化 喜連川のお殿さま 【同時開催】収蔵作品展 川上澄生の世界	11月25日(土)～12月24日(日) 氏家・喜連川町史編さんの成果などをもとに、近世の成立、喜連川歴代藩主の業績や文芸等を紹介します。 同時開催の収蔵作品展では、版画家川上澄生の収蔵作品を展示します。
第15回 こども絵画展 【同時開催】テーマ展示 むかしのくらしの道具展	平成30年1月4日(木)～1月28日(日) 毎年恒例の「こども絵画展」。さくら市内のこどもたちの絵画作品を展示します。 同時開催のテーマ展では、むかしのくらしで使っていた道具などを展示し、くらしのうつりかわりを紹介します。 ※テーマ展は小学校3年生が学ぶ「くらしはどのようにうつりかわってきたの」にあわせた内容です。学校での校外学習などにご利用ください。
第21回 栃木日展作家展	2月3日(土)～3月18日(日) 日展で活躍する栃木県ゆかりの作家を、日本画・洋画・工芸美術・書のジャンルで紹介します。
開館25周年記念 松尾敏男展 ～大観・南風・寛方の系譜を継ぐ～	3月24日(土)～5月6日(日) 日本画壇の重鎮・松尾敏男(1926-2016)の大回顧展です。師・横山大観や堅山南風そして荒井寛方の作品とともに松尾敏男氏の代表作を展示いたします。

※展覧会の料金・会期・タイトル・内容は変更となる場合もございますので、あらかじめご了承ください。

●開館時間 午前9時～午後5時

●観覧料 一般／300円(210円)、高校・大学生／200円(140円)、小・中学生／100円(70円)

※()内は団体料金

さくら市ミュージアム見学・体験学習の流れ（教職員用）

さくら市ミュージアムでは、学校と博物館との連携がより一層深まり、子どもたちの心豊かな教育が実現するよう、総合的な学習への対応や体験学習の充実に努めています。さくら市ミュージアムが所蔵している資料や展示物は学習教材となり、また、さくら市ミュージアムは第2の教室となります。学校のさくら市ミュージアム利用が効果的で充実したものとなるよう、さくら市ミュージアムと学校との相方向発信を今後も追求していきたいと思っております。



さくら市ミュージアムと実施日時の調整（1ヶ月前）

希望する日が休館日であったり、行事が入っていたり利用できない場合があります。予備日を設定するようにしてください。

体験学習の内容を検討

当日の学習内容・授業のねらいをさくら市ミュージアムにお伝えください。できれば、担当者が直接ミュージアムまでお越しください。ねらいに合った資料の利用、プログラム等の検討をします。

施設利用申請書の提出（15日前まで）

様式はさくら市例規集にあります（さくら市博物館条例施行規則第11条様式第5号）。必要事項を記入し、さくら市ミュージアムに提出してください。

実施

さくら市ミュージアムを利用する場合は、展示室では大声で騒がない、展示物には触らないなどのマナーをご指導ください。

評価

児童生徒の感想・意見をもとに、良かった点、改善すべき点等を評価表に記入し、さくら市ミュージアムに提出してください。今後の体験学習の参考にします。

■体験学習教材例■

昔の生活道具



田植え着



火おこし



Ⅵ 社会体育

1 社会体育の目標、基本方針

市民の健康づくり意識の高まりに伴い、スポーツ・レクリエーションへの関心も高まっており、誰もが気軽にスポーツ等の活動が楽しめる環境づくりが求められている。

このような中、近年は集団的活動より個人的活動が好まれるなど、価値観も多様化しており、スポーツへの関わり方についても変化してきている。

このため、市民ニーズを的確に把握しながら、「市民ひとり1スポーツ」の推進に取り組んで行く必要がある。

子どもから高齢者まで、誰もがそれぞれのライフスタイルに応じた多様なスポーツ活動ができるよう、また、健康づくりや生きがいづくりができるよう諸政策を講じながら、生涯スポーツ社会の実現を目指すものとする。

2 本年度の重点目標

①生涯スポーツの推進

- ・市民のスポーツ活動を推進するため、各種教室・各種大会を開催し、体力の維持・増進を図る。
- ・年齢・性別を問わず、誰もが気軽に楽しめるニュースポーツの振興を図るため、ニュースポーツ教室を開催し、スポーツに参加できる機会の拡充に努める。
- ・スポーツを通し、高齢者や障がいのある方が積極的に社会との関わりを持てるよう、ウォーキング教室の開催や障がい者スポーツ指導員の継続的な育成に取り組む。
- ・市民がスポーツに取り組む際に、そのニーズに対応できる指導者やボランティアの育成を支援するため、生涯スポーツ指導者講習への参加促進やスポーツ推進委員の加入推進を図る。

②スポーツ施設の整備・利用促進

- ・多くの市民がスポーツ活動のできる拠点・環境づくりのため、各スポーツ施設の整備・充実を図る。また、施設の利用促進及び有効活用を図る。

(1) 喜連川高校跡地第2グラウンドの整備（サッカー場の人工芝舗装化・7月完成
新名称：SAKURAグリーンフィールド）

(2) 氏家中学校第2体育館の夜間一般開放

3 体育施設

(1) 屋内体育施設

◆氏家体育館

所在地 さくら市氏家2730番地

電話 028-682-8888 F A X 028-682-7541

昭和52年3月設置

建物面積 3,690.00㎡

(内訳) アリーナ 1,512.00㎡

格技場 450.00㎡

その他 1,728.12㎡

利用時間 午前9時～午後9時30分（日曜・祝日 ～午後5時まで）

使用料 別紙のとおり

◆喜連川体育館

所在地 さくら市喜連川4397番地1

電話 028-686-6625 F A X 028-686-4211

昭和54年3月設置

建物面積 1,227.00㎡

(内訳) アリーナ 858.00㎡

格技場 313.00㎡

その他 56.00㎡

利用時間 午前9時～午後9時30分（日曜・祝日 ～午後5時まで）

使用料 別紙のとおり

◆鷺宿体育館

所在地 さくら市鷺宿950番地

平成22年4月小学校統合により社会体育施設として設置（建設年次：昭和63年）

利用時間 午前9時～午後9時30分

使用料 別紙のとおり

◆河戸体育館

所在地 さくら市上河戸1824番地2

平成22年4月小学校統合により社会体育施設として設置（建設年次：昭和53年）

利用時間 午前9時～午後9時30分

使用料 別紙のとおり

◆金鹿体育館

所在地 さくら市鹿子畑1243番地3

平成22年4月小学校統合により社会体育施設として設置（建設年次：平成元年）

利用時間 午前9時～午後9時30分

使用料 別紙のとおり

◆穂積体育館

所在地 さくら市穂積477番地

平成22年4月小学校統合により社会体育施設として設置（建設年次：昭和55年）

利用時間 午前9時～午後9時30分

使用料 別紙のとおり

◆喜連川弓道場

所在地 さくら市喜連川4399番地2

平成12年4月設置

建物面積 179.82㎡

利用時間 午前5時～午後9時

使用料 別紙のとおり

◆喜連川高校跡地体育館

所在地 さくら市喜連川561番地

平成24年7月栃木県から譲渡により社会体育施設として設置（建設年次：昭和42年）

利用時間 午前9時～午後9時30分

使用料 別紙のとおり

(2) 屋外体育施設

◆総合公園

所在地 さくら市櫻野1789番地

敷地面積 159,000.00㎡

①野球場（2面）

昭和62年3月設置

敷地面積 26,970.96㎡

利用時間 午前5時～午後9時

使用料 別紙のとおり

②テニスコート（人工芝コート4面）

昭和62年3月設置

敷地面積 4,844.92㎡

利用時間 午前5時～午後9時

使用料 別紙のとおり

③プール

電話 028-682-0266

平成元年7月設置

敷地面積 10,000.00㎡ 水面積 1,600.00㎡

(内訳) ・ながれるプール

全長 143.0m 幅 6.0m 水面積 896.46㎡ 水深 1.0m

・ちびっこプール

水面積 94.62㎡ 水深 0.4～0.6m

・なみのプール

水面積 652.50㎡ 最水深 1.20m

・スライダープール

全長 48.0m 高さ 7.0m (着水プール 水面積 28.26㎡ 水深 0.80m)

利用期間 市立小中学校の夏休み期間を基本とし、毎年別に定める。

(H29 7/15・16・17：プレオープン H29 7/22～8/27)

利用時間 平日：午前9時から午後4時30分まで

土日・祝日・お盆期間：午前9時から午後5時まで

使用料 別紙のとおり

④ゲートボール場

平成2年3月設置

敷地面積 2,640.00㎡

ゲートボールコート 6面

利用時間 午前5時～午後5時

使用料 別紙のとおり

⑤さくらスタジアム（陸上競技場）

電話 028-688-8566 FAX 028-688-8596

平成27年10月設置

400mトラック8レーン（全天候型）

天然芝フィールド

利用時間 午前9時～午後9時（日曜・祝日 ～午後5時まで）

使用料 別紙のとおり

◆菖蒲沢公園

所在地 さくら市金枝62番地2

平成5年設置

敷地面積 23,884.00㎡

野球場（2面） テニスコート（3面）

利用時間 午前5時～午後9時

使用料 別紙のとおり

◆鬼怒川運動公園

所在地 さくら市向河原4101番地

昭和53年設置（平成10年再整備）

敷地面積 19,496.00㎡

サッカー場（2面） 多目的スペース

利用時間 午前5時～午後7時

休場日 毎年1～5月（芝生養生期間）

使用料 別紙のとおり

グラウンドゴルフ場（平成20年度オープン）

敷地面積 13,387.00㎡

◆喜連川運動場

所在地 さくら市喜連川886番地

昭和60年4月設置

敷地面積 24,356.00㎡

サッカー場（1面）

利用時間 午前5時～午後9時

使用料 別紙のとおり

◆喜連川運動場テニスコート

所在地 さくら市喜連川811番地

平成7年4月設置

敷地面積 2,076.00㎡

テニスコート (3面)

利用時間 午前5時～午後7時

使用料 別紙のとおり

◆鷺宿運動場 (現在、再整備のため利用中止中。整備完了後、利用再開。)

所在地 さくら市鷺宿4432番地2

昭和62年4月設置

敷地面積 21,425.00㎡

利用時間 午前5時～午後7時

使用料 別紙のとおり

◆喜連川高校跡地第1グラウンド

所在地 さくら市喜連川561番地

平成24年7月栃木県から譲渡により社会体育施設として設置

敷地面積 10,000㎡

野球場 (1面)

利用時間 午前5時から午後9時

使用料 別紙のとおり

◆SAKURAグリーンフィールド

所在地 さくら市喜連川561番地

平成24年7月栃木県から譲渡により社会体育施設として設置

敷地面積 15,000㎡

サッカー場 (1面) フットサルコート (1面)

利用時間 午前8時から午後9時

使用料 別紙のとおり

◆喜連川B & G海洋センター

所在地 さくら市喜連川826番地2

電話 028-686-3738

昭和63年設置

敷地面積 3,267.00㎡ 水面積 385㎡

(内訳) 競泳用プール 25m×13m 6コース

幼児用プール 10m×6m

利用時間 第1回 午後2時～午後4時45分

第2回 午後5時30分～午後9時

※夏休み期間 (H29 7/21～8/26)

第1回 午前9時～午後12時

第2回 午後1時～午後5時

第3回 午後6時～午後9時

利用期間 5月12日～10月31日まで

(月曜休館 月曜日が祝日または振替休日の場合は翌平日)

使用料 別紙のとおり

(3) 学校開放体育施設

- ◆氏家小学校 体育館 バレーボール (2面) バスケットボール (1面)
校庭 野球 サッカー ソフトボール その他

- ◆南小学校 体育館 バレーボール (1面) バスケットボール (1面)
バドミントン (3面)
校庭 野球 サッカー ソフトボール その他

- ◆上松山小学校 体育館 バレーボール (1面) バスケットボール (1面)
バドミントン (3面)
校庭 野球 サッカー ソフトボール その他

- ◆熟田小学校 体育館 バレーボール (2面) バスケットボール (1面)
バドミントン (3面) 卓球台 (3台)
校庭 野球 サッカー ソフトボール その他

- ◆押上小学校 体育館 バレーボール (2面) バスケットボール (1面)
バドミントン (3面)
校庭 野球 サッカー ソフトボール その他

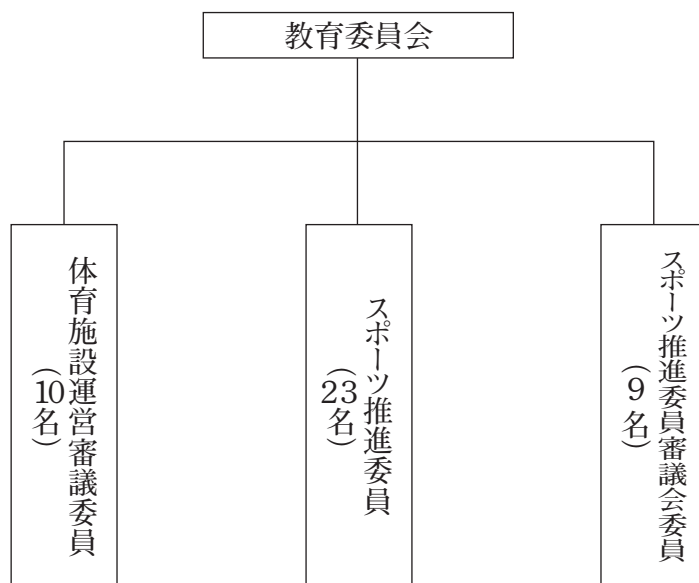
- ◆喜連川小学校 体育館 バレーボール (2面) バスケットボール (1面)
バドミントン (3面)
校庭 野球 サッカー ソフトボール その他

- ◆氏家中学校 第1体育館 バレーボール (2面) バスケットボール (2面)
バドミントン (6面)
第2体育館 バレーボール (2面) バスケットボール (2面)
校庭 野球 サッカー ソフトボール その他

- ◆喜連川中学校 体育館 バレーボール (2面) バスケットボール (2面)
バドミントン (3面)
校庭 野球 サッカー ソフトボール その他

4 社会体育関係団体および委員会

・推進組織



(1) スポーツ推進審議会（9名 任期2年）

スポーツ基本法に規定するもののほか、教育委員会の諮問に応じてスポーツ振興に関する次に掲げる事項について調査・審議し、及びこれらの事項に関して教育委員会に建議する。

- ①スポーツ施設及び設備の整備に関すること。
- ②スポーツの指導者の養成及びその資質の向上に関すること。
- ③スポーツの事業の実施及び奨励に関すること。
- ④スポーツの団体の育成に関すること。
- ⑤スポーツによる事故の防止に関すること。
- ⑥スポーツの技術水準の向上に関すること。
- ⑦前各号に掲げるもののほか、スポーツの振興に関すること。

(2) スポーツ推進委員会（23名 任期2年）

スポーツ基本法に基づきスポーツ推進委員は、市の社会体育・スポーツ活動の普及とその任務遂行のため委員相互の研修ならびに融和を図り、明朗で健全な精神を養いながら地域住民の体力づくりに寄与する。

- ①住民の求めに応じてスポーツの実技の指導を行うこと。
- ②住民のスポーツ活動の促進のための組織の育成を図ること。
- ③学校、公民館等の教育機関の行うスポーツの行事又は事業に関し協力すること。
- ④スポーツ団体その他の団体の行うスポーツに関する行事又は事業に関し、求めに応じ協力すること。

- ⑤住民一般に対しスポーツについての理解を深めること。
- ⑥前各号に掲げるもののほか、住民のスポーツの推進のための指導助言を行うこと。

(3) 体育施設運営審議会 (10名 任期2年)

体育施設の適正な運営をはかるため、教育委員会の諮問に応じ、次の各号について調査審議する。

- ①体育施設の適切な利用管理に関すること。
- ②条例第10条に規定する施設利用料の減免に関すること。
- ③施行規則第2条第2項に規定する施設の臨時休業に関すること。
- ④体育以外の目的による利用許可に関すること。
- ⑤その他施設の管理運営に特に必要と認める事項。

(4) 体育協会

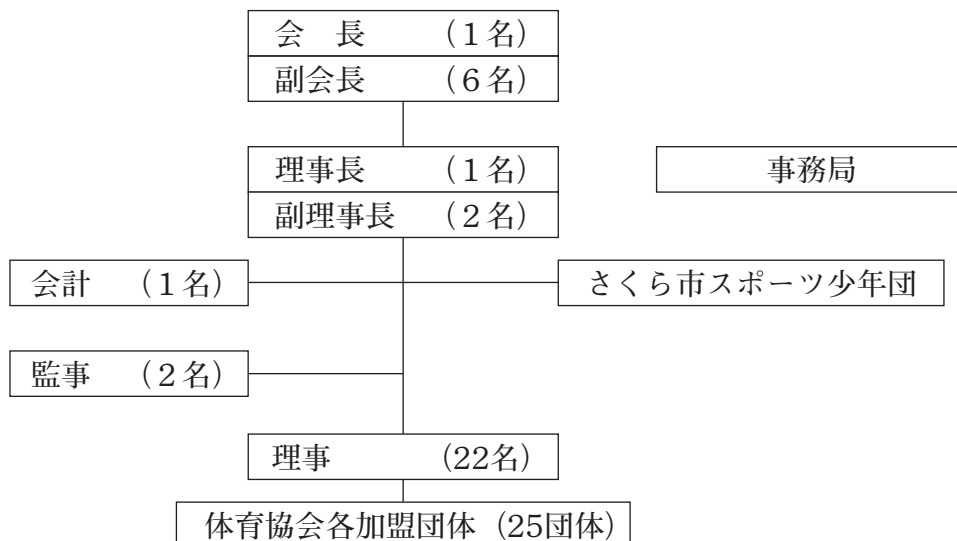
市のスポーツを振興し、生涯スポーツ活動の普及発達による市民の体力向上と健全なスポーツ精神の育成に努めるとともに、明るく豊かで潤いに満ちた生活と文化の形成に寄与することを目的とする。

①事業

目的を達成するために、次の事業を行う。

- ア、生涯スポーツ振興発展に向けた基本方針の確立と調査研究に関すること。
- イ、加盟団体の組織強化と相互の連絡融和を図ること。
- ウ、スポーツの振興と競技力の向上に関すること。
- エ、スポーツ大会、講習会、その他スポーツ行事の開催に関すること。
- オ、スポーツ少年団の育成に関すること。
- カ、その他本協会の目的達成に必要な事業に関すること。

②組織



体育協会

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
陸上競技協会	野球連盟	ソフトボール協会	テニス協会	ソフトテニス協会	バレーボール協会	卓球連盟	サッカー協会	スキー協会	水泳連盟	バスケットボール協会	バドミントン協会	インディアアカ協会	剣道協会	柔道連盟	弓道連盟	相撲連盟	射撃協会	レスリング協会	空手道連盟	ゲートボール協会	グラウンドゴルフ協会	ゴルフ連盟	太極拳協会	居合道連盟

～市民ひとり1スポーツ～



市民体育祭



さくら市マラソン大会

平成29年度さくら市スポーツ教室一覧

教室名	開催会場	対 象	開 催 日	教室期間
陸 上	さくらスタジアム(雨天時 氏家中学校体育館)	小学4～6年生	毎週水曜 18時30分～20時	4月5日(水)～通年
野 球	喜連川高校跡地野球場 他(代表者に確認)	年少～小学3年生	毎週日曜 9時～12時	4月2日(日)～通年
	総合公園野球場 他(代表者に確認)	小学6年生	毎週土・日曜・祝日 8時～12時	8月20日(日)～3月25日(日)
	菖蒲沢公園野球場	小学3～6年生	毎週水曜 19時～21時	4月5日(水)～10月25日(水)
ソフトボール	喜連川小学校校庭	小学生女子	毎週土曜 8時30分～12時	4月1日(土)～通年
テ ニ ス	総合公園テニスコート	市内小学生	毎週土曜 13時～18時	4月1日(土)～通年
		成人(市内在住・在勤)	毎週日曜 13時～18時	4月9日(日)～通年
	喜連川運動場テニスコート	中学生以上	毎週土曜 10時～15時	4月1日(土)～通年
ソフトテニス	氏家体育館	成人	毎週水曜 13時～16時	4月5日(水)～通年
バレーボール	氏家体育館	小学生・保護者	毎週土曜 18時30分～20時	4月1日(土)～通年
	喜連川体育館(木曜日) 喜連川高校跡地体育館(日曜日)	中・高校生	毎週水曜 19時～21時30分 毎週日曜 9時～17時	4月2日(日)～通年
ソフトバレー	氏家中学校体育館	小学生以上	毎週土曜 19時～21時(小学生20時30分まで)	4月1日(土)～通年
	金鹿体育館	小学生以上	毎週土曜 19時～21時(小学生20時30分まで)	4月1日(土)～通年
卓 球	氏家体育館アリーナ	小学生	毎週金曜 18時30分～21時30分	4月7日(金)～通年
		中学生	毎週水曜 19時～21時30分	4月5日(水)～通年
ラージボール卓球	氏家体育館アリーナ	成人	毎週金曜 19時～21時	4月7日(金)～通年
サ ッ カ ー	さくらスタジアム	小学生	毎週火曜 18時30分～20時	4月18日(火)～12月19日(火)
	喜連川運動場	小学1～3年生	毎週土曜 18時～20時	4月1日(土)～通年
	さくらスタジアム(水曜日) 喜連川運動場(土曜日)	小学4～6年生	毎週水曜 18時30分～20時30分	4月1日(土)～通年
			毎週土曜 18時～20時	
水 泳	B&G海洋センター	小学1～3年生	毎週水曜 18時30分～19時30分	5月17日(水)～9月27日(水)
		小学4～6年生	毎週木曜 18時30分～19時30分	5月18日(木)～9月28日(木)
バスケット ボ ー ル	氏家小学校体育館	小学生	毎週水曜日 18時30分～21時	4月5日(水)～2月28日(水)
	氏家体育館	中学生以上	毎週水曜日 19時～21時30分	4月5日(水)～通年
バドミントン	喜連川高校跡地体育館	小学生以上(初心者・初級者)	毎週水曜 18時30分～21時	4月5日(水)～通年
		小学生以上(中級者)	毎週金曜 18時30分～21時30分	4月7日(金)～通年
インディアカ	氏家体育館	中学生以上	毎週木曜 19時30分～21時	4月6日(木)～通年
	喜連川体育館	中学生以上	毎週土曜 19時30分～21時	4月1日(土)～通年
剣 道	氏家体育館格技場	小学生以上	毎週水・土曜 19時～21時30分	4月1日(土)～通年
柔 道	氏家体育館格技場	年長児～中学生 一般	毎週火・金曜 19時～20時30分	4月7日(金)～通年
	喜連川中学校格技場	小・中学生	毎週火・金曜 19時～21時	4月4日(火)～通年
弓 道	喜連川弓道場	一般(初心者・再度始めたい方)・中高生(学校で弓道部に入っていない生徒)	毎週日曜 10時～12時	5月7日(日)～10月15日(日)
レスリング	喜連川高校跡地図書室	3歳～中学生	毎週土曜 18時～20時30分	4月8日(土)～3月17日(土)
空 手 道	氏家体育館格技場(木曜日) アリーナ(土曜日)	年長児以上	毎週木曜 19時～21時30分	4月1日(土)～通年
	毎週土曜 18時30分～21時30分			
	氏家幼稚園体育館(火曜日)	年長児～小学生	毎週火曜 19時～21時	4月1日(土)～通年
	南小学校(火曜日) さくら総合専門学校体育館(土曜日)		毎週火・土曜 18時～21時30分	
喜連川体育館格技場	年長児以上	毎週月・木曜 19時30分～21時	4月17日(月)～通年	
ゲートボール	総合公園ゲートボール場	市民	毎週土曜 9時30分～12時	4月8日(土)～通年
グラウンド ・ ゴ ル フ	鬼怒川運動公園 グラウンド・ゴルフ場	60歳以上	毎月第1月曜 4～11月 8時30分～11時 12～3月 9時～11時30分	4月3日(月)～通年
	兎田河原 グラウンド・ゴルフ場	小学生～成人	毎月第2・4土曜 4～9月 8時～10時 10～3月 8時30分～10時30分	4月1日(土)～通年
太 極 拳	氏家体育館アリーナ	市民	毎週火曜 18時～21時	4月4日(火)～通年
	喜連川体育館格技場	小学生以上	毎週木曜 9時～12時	4月6日(木)～通年
		小学生以上	毎週火曜 19時～20時30分	4月4日(火)～通年
体 操	氏家体育館アリーナ	小学生・中学生	毎週火曜 18時30分～20時30分	4月4日(火)～通年

さくら市体育施設料金一覧表

表示の金額は、さくら市に居住・在勤する方、栃木県央都市圏または栃木県塩谷広域圏に在住・在勤・在学する方に適用され、それ以外の方は表示の倍の使用料になります。

栃木県央都市圏・栃木県塩谷広域圏（さくら市、宇都宮市、鹿沼市、日光市、真岡市、矢板市、下野市、上三川町、芳賀町、壬生町、塩谷町、高根沢町）

屋内体育施設

施設名称	区分	利用案内	使用料(1時間あたり)		
			施設使用料	照明使用料	
氏家体育館	アリーナ	全面		800円	800円
		半面	バスケットボール・ユニホック	400円	400円
		半面	ソフトテニス	400円	400円
		半面	バレーボール	300円	300円
		1/8面	バドミントン・インディアカ・ソフトバレーボール・ショートテニス	100円	100円
		ステージ		500円	500円
	卓球場	全面	卓球・太極拳・空手・ダンス	150円	150円
		卓球1面	卓球台1台を含む。	50円	50円
	卓球台1台		追加する場合	50円	—
	格技場	全面		400円	400円
		柔道場	柔道・柔術	200円	200円
		剣道場	剣道・空手・太極拳・ダンス	200円	200円
		1/8面	卓球台1台を含む。	50円	50円
	会議室		収容人数20名	500円	
トレーニング室		1回の利用(2時間)	100円		
		11回分の回数券	1,000円		
喜連川体育館	アリーナ	全面	ミニバスケットボール	400円	400円
		半面	バレーボール	200円	200円
		1/4面	バドミントン・インディアカ・ソフトバレーボール・ショートテニス・卓球	100円	100円
		ステージ		500円	500円
	格技場	全面	剣道・空手・太極拳・ダンス	200円	200円
		1/4面	卓球台1台を含む。	50円	50円
	卓球台1台		追加する場合	50円	—
	トレーニング室		1回の利用(2時間)	100円	
11回分の回数券			1,000円		

屋内体育施設

施設名称	区 分		利 用 案 内	使用料(1時間あたり)	
				施設使用料	照明使用料
喜連川高校跡地 体育館	アリーナ	全面		600円	600円
		半面	バスケットボール	300円	300円
		半面	バレーボール	200円	200円
		1/6面	バドミントン・インディアカ・ ソフトバレーボール	100円	100円
		ステージ		500円	500円
鷺宿体育館	全面	フットサル・バレーボール・ ミニバスケットボール	200円	200円	
河戸体育館	全面	バレーボール ミニバスケットボール	200円	200円	
金鹿・穂積体育館	全面	バドミントン・ソフトバレーボール・ インディアカ・バレーボール・ ミニバスケットボール	200円	200円	
喜連川弓道場	全面	弓道	150円	50円	
	1/3面		50円		

屋外運動場

施設名称	区 分		利 用 案 内	使用料(1時間あたり)	
				施設使用料	照明使用料
鬼怒川運動公園	サッカー 場	1面	サッカー(一般)	1,000円	—
		半面	サッカー(少年)	500円	—
	多目的スペース		スポーツ以外	500円	—
喜連川運動場	全面	サッカー(一般)	500円	2,000円	
	片面	サッカー(少年)	250円	1,000円	
SAKURA グリーンフィールド	全面	サッカー(一般)	1,500円	2,000円	
	片面	サッカー(少年)	750円	1,000円	
	フットサルコート	フットサル	600円	500円	
菖蒲沢公園野球場	1面	軟式野球・ソフトボール	300円	2,000円	
喜連川高校跡地 第1グラウンド	1面	軟式野球・ソフトボール	300円	1,000円	
総合公園野球場	1面(全灯)	軟式野球	500円	3,500円	
	1面(半灯)	ソフトボール	500円	2,000円	

屋外運動場

施設名称	区 分	利 用 案 内	使用料(1時間あたり)	
			施設使用料	照明使用料
総合公園 さくらスタジアム	トラック	個人利用(2時間の料金)	200円	200円
		11回分の回数券	2,000円	
		専用利用	1,000円	[全灯]3,000円 [半灯]1,500円
	フィールド	専用利用	1,000円	[全灯]2,000円 [半灯]1,000円
		貸切利用(サッカー)	1,500円	[半灯]1,000円
	会議室	収容人数20名	500円	—
	シャワー	1回(料金は居住地にかかわらず一律)	100円	—
	放送設備	1回(料金は居住地にかかわらず一律)	1,000円	—
写真判定機	1回(料金は居住地にかかわらず一律)	1,000円	—	

テニスコート

施設名称	区 分	利 用 案 内	使用料(1時間あたり)	
			施設使用料	照明使用料
総合公園テニスコート	人工芝コート1面	テニス	400円	300円
喜連川運動場・ 菖蒲沢公園・ テニスコート	ハードコート1面	テニス	300円	—

プール

施設名称	区 分	利 用 案 内	使用料	
			個 人	団体(20名以上)
喜連川 B&G海洋センター	小・中学生	幼児用プール・25mプール	200円	
	一般		400円	
	シルバー(満70歳以上)		200円	
総合公園プール	小学生未満	ちびっこプール・波のプール・ 流れるプール・ スライダープール	100円	80円
	小・中学生		200円	160円
	一般		600円	480円

※プールについては市内・市外の方一律に上記の料金です。

資 料 編

さくら市教育支援委員会

(任期：平成29年4月1日～平成30年3月31日)

No.	役 職 等	氏 名
1	小児科医	小 野 三 佳
2	県北児童相談所係長	中 野 かおり
3	氏家中スクールカウンセラー	田 中 ひさ 子
4	喜連川中スクールカウンセラー	深 尾 廉 子
5	養護園園長	大 谷 順 一
6	南那須特別支援学校教諭	荒 川 かよ 子
7	市健康増進課保健師	斎 藤 利 江
8	氏家幼稚園園長	田 渕 みつ 与
9	たいよう保育園長	君 島 まさ 彦
10	氏家中学校長	小 林 かず 弘
11	氏家小学校長	北 原 ひろ 博 司
12	喜連川小学校長	岩 崎 すずむ 奨
13	氏家小学校特別支援教育コーディネーター	谷 上 ゆう 子
14	上松山小学校教務主任	仁 平 ひろ 博 幸
15	南小学校特別支援教育主任	杉 本 ゆう 子
16	喜連川小学校特別支援教育主任	永 井 えい 子
17	氏家中学校特別支援教育主任	村 上 あき 夫
18	喜連川中学校特別支援教育主任	渡 辺 純 子

委員長 小 林 和 弘

副委員長 北 原 博 司

さくら市社会教育委員及び公民館運営審議会委員

(任期：平成29年4月1日～平成31年3月31日)

No.	氏名	備考
1	岩崎 奨 <small>いわさき すすむ</small>	喜連川小学校長
2	岡安 正弘 <small>おか やす まさひろ</small>	喜連川中学校長
3	齋藤 敏一 <small>さいとう とし かず</small>	スポーツ活動（体育協会代表）
4	小山 則子 <small>こやま のりこ</small>	図書館活動（読み聞かせボランティア）
5	小嶋 洋子 <small>こじま ひろこ</small>	家庭教育活動（オピニオンリーダー・主任児童委員）
6	舟本 幸美 <small>ふなもと ゆきみ</small>	青少年育成活動（元青少年指導員）
7	小林 俊夫 <small>こばやし としお</small>	文化芸術活動（氏家喜連川歴史文化研究会代表）
8	石原 功江 <small>いしはら のりえ</small>	県次世代人材づくり事業研修修了生
9	木村 春雄 <small>きむら はるお</small>	ミュージアム友の会員・元高校英語教諭
10	八木澤 久秀 <small>やぎさわ ひさひで</small>	公民館活動（ハーモニカサークル）
11	海老原 幸子 <small>えびはら さちこ</small>	博物館活動（さくら民話の会）
12	落合 崇史 <small>おちあい たか し</small>	作曲家
13	津浦 幸夫 <small>つうら ゆきお</small>	自治公民館活動（自治公民館連絡協議会代表）
14	上岡 啓子 <small>かみおか けいこ</small>	ふくしボランティア団体活動
15	笹沼 良子 <small>ささぬま よしこ</small>	公民館活動（公民館講座講師）
16	三柴 由江 <small>みやしば ゆきえ</small>	公民館活動（公民館講座講師）
17	高瀬 泉 <small>たかせ いづみ</small>	公民館活動（公民館講座講師）

委員長 木村 春雄
副委員長 石原 功江
副委員長 笹沼 良子

さくら市図書館協議会委員

(任期：平成29年4月1日～平成31年3月31日)

No.	氏名	備考
1	木村春雄	社会教育委員（委員長）
2	笹沼良子	社会教育委員（副委員長）
3	小島かおり	学校代表（喜連川小学校）
4	古口立子	学校代表（氏家中学校）
5	蓮見徹	学識経験者（栃木県総合教育センター相談員・元喜連川小学校長）
6	船生幸枝	利用者代表（アリスの会）
7	斎藤暁美	利用者代表（バーバママ）
8	角田文江	利用者代表（さくら民話の会）
9	手塚孝	利用者代表（元喜連川図書館長）
10	谷口洋子	利用者代表（家庭教育オピニオンリーダー）

会長 蓮見 徹
副会長 船生 幸枝

さくら市博物館協議会委員

(任期：平成29年4月1日～平成31年3月31日)

No.	氏名	備考
1	岩崎 奨	校長会会長 喜連川小学校校長
2	加藤 啓三	学識経験者 うじいえ自然に親しむ会
3	小山 研一	学識経験者 ミュージアム友の会 氏家・喜連川歴史文化研究会
4	金 子立	学識経験者 氏家・喜連川歴史文化研究会 今宮神社宮司
5	岡 一雄	学識経験者 氏家・喜連川歴史文化研究会 医師
6	海老原 忠夫	学識経験者 さくら市文化財保護審議会
7	高野 美智子	学識経験者 地域と学校を結ぶコーディネーター
8	綱川 栄	学識経験者 下野新聞社 特別編集委員
9	岩崎 崇	学識経験者 まちづくりモニター さくら市生涯学習推進協議会
10	一條 喜美江	学識経験者 文化財保護 生涯学習

委員長 岡 一雄
副委員長 高野 美智子

さくら市文化財保護審議会委員

(任期：平成29年4月1日～平成31年3月31日)

No	氏名	備考
1	海老原 郁雄	学識経験者 (栃木県考古学会顧問、考古)
2	岡田 義治	学識経験者 (栃木県建築士会名誉会長、建築)
3	中野 英男	学識経験者 (元さくら市ミュージアム館長、民俗)
4	平川 晋吾	学識経験者 (元宇都宮大学教授、美術)
5	新井 正義	学識経験者 (元喜連川町史専門委員、文献)
6	村上 進	学識経験者 (元喜連川町文化財保護審議会委員、郷土史)
7	海老原 忠夫	学識経験者 (元宇都宮大学講師、建築)
8	渡辺 剛	学識経験者 (前那須野ヶ原博物館嘱託学芸員、自然)
9	平野 哲也	学識経験者 (常盤大学准教授、文献)
10	篠原 浩恵	学識経験者 (公益財団法人とちぎ未来づくり財団、考古)

会長 海老原 郁雄
副会長 新井 正義

さくら市生涯学習推進協議会委員

(任期：平成29年4月1日～平成31年3月31日)

No	氏 名	備 考
1	荒川明英	西導寺住職
2	岩崎崇	環境保護活動
3	小坂佳代子	教員 であえ学び塾講師
4	高野篤	さくらまちあそびクラブ主宰
5	早川達也	まちづくりボランティア
6	山本智代	スポーツ推進活動
7	戸村敏之	行政（学校教育課）
8	薄井徹	学校跡地活用主宰
9	塚形義光	市民大学修了
10	新江悟	国際交流活動
11	大西貴之	公民館活動
12	佐藤康夫	行政（総合政策課）
13	郡司泰雄	まちづくり活動実践者
14	坂本秀子	まちづくり活動実践者
15	飯村充代	文化財保存活動
16	大関絹恵	教員（前生涯学習課社会教育主事）
17	高野洋	行政（塩谷広域行政組合派遣）

会 長 荒川明英
副会長 山本智代
副会長 岩崎崇

さくら市青少年センター運営協議会委員

(任期：平成29年4月1日～平成31年3月31日)

No	氏 名	備 考
1	飯 島 満 い い じ ま み つ る	少年指導員会
2	加 藤 明 代 か とう あ き よ	少年指導員会
3	小 口 勤 こ ぐち つ と む	栃木県青少年育成指導員
4	田 中 耕 一 た な か こう い ち	学識経験者（社会福祉協議会代表）
5	小 林 行 雄 こ ばやし ゆ き お	学識経験者(民生委員児童委員協議会連合会長)
6	内 藤 進 ない とう す すす	子ども会連合会長
7	別 井 三美子 べつ い み み こ	警察関係者（さくら警察署生活安全課長）
8	根 本 広 昭 ね もと ひろ あ き	喜連川中学校（生徒指導主事）
9	鈴 木 さゆり すず き さ ゆ り	南小学校（児童指導主任）
10	吉 澤 テル子 よし ざわ て る こ	地域と学校を結ぶコーディネーター(南小学校)

会 長 田 中 耕 一

副会長 内 藤 進

さくら市青少年センター少年指導員

(任期：平成29年4月1日～平成31年3月31日)

No	氏名	備考
1	飯島 満	ゆめ！さくら博実行委員長
2	井上 由枝	上松山児童センター代替職員
3	大河原 千晶	さくら市議会議員
4	岡田 敏子	更正保護女性会／保護司／さくら市社会福祉協議会理事
5	岡村 浩雅	さくら市議会議員
6	小澤 明美	さくら市小学校非常勤講師
7	加藤 明代	さくら市子ども会連合会副会長
8	加藤 朋子	さくら市議会議員
9	加藤 英雄	元氏家中学校PTA副会長／元熟田小PTA会長
10	加藤 紘敬	さくらリーダーズクラブOB／さくら市子ども会連合会役員
11	金子 弘尚	さくらリーダーズクラブOB／さくら市子ども会連合会役員
12	神山 由里子	さくら市小学校非常勤講師
13	齋藤 秀夫	自然体験教室経営者
14	齋藤 康則	氏中PTA執行部
15	佐藤 朋子	放課後ふれあいスクールサポーター
16	佐藤 美幸	さくらリーダーズクラブOG／さくら市子ども会連合会役員
17	清水 政明	元氏家町青少年健全育成委員
18	関谷 郁美	リンク栃木ブレックスチアリーダー BREXY
19	相馬 裕子	家庭教育オピニオンリーダー「ミミーの会」会員 放課後ふれあいスクールサポーター
20	滝口 尚子	家庭教育オピニオンリーダー「ミミーの会」会員
21	手塚 春美	放課後ふれあいスクールサポーター
22	永井 孝淑	さくら市議会議員
23	平山 正晃	元氏家中学校PTA総務部
24	福嶋 通子	元さくら市社会教育指導員
25	福田 克之	さくら市議会議員
26	村上 佳彦	高校非常勤講師／元さくら市社会教育指導員
27	柳下 有希	うじえリーダーズクラブOG／さくら市子ども会連合会役員
28	渡邊 能辰	さくら市観光ボランティア
29	大貫 哲男	さくら市職員
30	川崎 保成	さくら市職員
31	栗橋 仁	さくら市職員
32	小松 会美	さくら市職員
33	佐藤 直樹	さくら市職員
34	佐藤 康夫	さくら市職員
35	横塚 一徳	さくら市職員

会長 飯島 満
副会長 加藤 明代
副会長 清水 政明

さくら市スポーツ推進委員名簿

(任期：平成29年4月1日～平成31年3月31日)

No	氏名	備考
1	吉川喜一郎	
2	松本昭一	
3	橋本啓二	
4	五江渕賢一	
5	印南眞弓	
6	加藤泰明	
7	仁科明彦	
8	齋藤美智子	
9	斎藤政利	
10	柴山能成	
11	佐々木眞由美	
12	遠山あい子	
13	福田貴之	
14	飯田徑夫	
15	山本智代	
16	芳村昇	
17	谷田勝美	
18	加藤文子	
19	中田準也	
20	工藤直人	
21	荒井路子	
22	中澤克之	
23	石崎美佐子	

会長 飯田 徑 夫
副会長 佐々木 眞由美

さくら市スポーツ推進審議会委員

(任期：平成29年4月1日～平成31年3月31日)

	氏名	備考
1	五江 賢一	元スポーツ団体代表者（元さくら市スポーツ推進委員会会長）
2	小林 邦夫	元県立高等学校校長 スポーツ団体代表者（市弓道連盟会長）
3	川上 登志行	スポーツ団体代表者（さくら市体育協会会長）
4	矢沢 三正	元スポーツ団体代表者
5	大村 勝範	元スポーツ団体代表者
6	小堀 智子	元スポーツ団体代表者（元さくら市体育協会副会長）
7	小野 隆	元スポーツ団体代表者（元さくら市体育協会副会長）
8	飯田 径夫	スポーツ団体代表者（さくら市スポーツ推進委員会会長）
9	高山 登	行政機関（教育委員会次長）

会長 小林 邦夫
副会長 五江 賢一

さくら市体育施設運営審議会委員

(任期：平成29年4月1日～平成31年3月31日)

	氏名	備考	参考
会長	橋本 啓二	審議会規則第7条（教育長）	あて職
1	君嶋 福芳	市職員（総合政策部長）	あて職
2	小島 誠	市職員（建設部長）	あて職
3	戸村 敏之	市職員（学校教育課長）	あて職
4	橋川 恵介	市職員（生涯学習課長）	あて職
5	岩崎 爽	県職員（校長会会長）	あて職
6	川上 登志行	市体育協会（会長）	あて職
7	—————	市内職場代表	
8	野中 洋	一般市民	再任
9	北村 豊子	一般市民	新任
10	五江 賢一	一般市民	再任
特別委員	—————	審議会規則第5条（副市長）	あて職

平成29年度 さくら市の教育(教育要覧)

発行日 平成29年8月31日

編集 さくら市教育委員会

発行人 橋本 啓二

〒329-1492

さくら市喜連川4420番地1

電話 028(686)6620



新・さくら市への扉をひらく し・ん・か

さくら市進化プラン



気力・体力・学力No.1

教育の

進化

子どもたちのために…

『さくら』は日本の良さ 日本の良さは教育の良さにあります

1. 学力 県内トップクラスの達成

全国学力学習状況調査結果を県内トップクラスに

2. 課外『さくら市スクール』の開設

- (ア) 基礎学力を養う市民塾
- (イ) 5歳児からの英語学習などの取り組み
- (ウ) 里山を活かした体験学習の充実

3. ICT教育の推進 (タブレット、ICT教材)

4. スポーツ教育施設の充実 (プール・武道館等)

その他、いのちの授業の充実(動物愛護施策の創設)や健全な遊び場としてプレイパークを開設などあらゆる取り組みに着手します

